

BD/DVDコピーガード

# Vガード

VCP方式 / 簡易方式 / BCP方式

## インストール・操作マニュアル

Ver 2.62

### 対象機種

#### Sharkシリーズ vガード対応モデル

- SHARK-x/BD-CP-USB
- SHARK-x/BD-CP-NET
- SHARK-x/BD-USB
- SHARK-x/BD-NET
- SHARK-x/DVD-USB
- SHARK-x/DVD-NET



#### JetCopierVTシリーズ vガード対応モデル

- SO-VPDxT/BL-CP-USB
- SO-VPDxT/BL-CP-NET
- SO-VPDxT/BL-CP-NU
- SO-VPDxT/BL-USB
- SO-VPDxT/BL-NET
- SO-VPDxT/DVD-USB
- SO-VPDxT/DVD-NET



### もくじ

ページ

はじめに.....	2
イメージファイルの利用について .....	4
USB接続ドライバのインストール .....	5
ネットワーク接続ツールのインストール.....	8
ImgBurnのインストール.....	11
CopyLockのインストール.....	14
簡易方式 ガード付きディスク作成手順.....	17
BCP方式 ガード付きディスク作成手順.....	22
OCP方式 ガード付きディスク作成手順 .....	29
VCP方式 ガード付きディスク作成手順.....	36
PCとデュプリケータをネットワーク接続する方法 .....	44
BCP/OCP/VCP共通 ダイレクトコピー .....	46
Vガード 対応デュプリケータ 製品仕様 .....	48



## はじめに

本マニュアルでは、DVD/BDコピーガードであるVガードについて説明します。デュプリケータの基本的な操作方法に関しては、各デュプリケータに付属している操作マニュアルをご参照ください。

Vガードは、Blu-rayやDVDのコンテンツを不正コピーから守るコピーガードです。専用のデュプリケータでガード付きディスクを作成できます。VガードにはBlu-ray2種類、DVD2種類、合わせて4つの方式があり、用途や目的に応じてお使い分けいただけます。それぞれ必要なライセンスやメディアが異なります。下記の一覧をご参考ください。

## Vガード方式 一覧

	Blu-ray Disc		DVD	
	簡易方式	BCP方式	OCP方式	VCP方式
対応形式	BDMV/BD-RE	BDMV/BD-RE ※2	DVD-Video	DVD-Video
対応マスター容量 ※1	BD1層 = 21.28 GB (21793 MB) ※ BD-R DL/XL, BD-RE非対応	BD1層 = 21.28 GB (21793 MB) BD2層 = 44.57 GB (45635 MB)	DVD1層 = 4.18 GB (4282 MB)	DVD1層 = 4.18 GB (4282 MB) DVD2層 = 7.72 GB (7906 MB)
ライセンス (USB Dongle)	不要	必要 1マスター = 3ライセンス	不要	必要 1マスター = 1ライセンス
対応ブランク メディア	必要	不要	必要	不要
対応 デュプリケータ	SO-VPDxT/BL-CP-NU SO-VPDxT/BL-CP-USB SO-VPDxT/BL-CP-NET SHARK-x/BD-CP-USB SHARK-x/BD-CP-NET	SO-VPDxT/BL-CP-NU SO-VPDxT/BL-CP-USB SO-VPDxT/BL-CP-NET SHARK-x/BD-CP-USB SHARK-x/BD-CP-NET (※2)	SO-VPDxT/DVD-USB SO-VPDxT/DVD-NET SO-VPDxT/BL-CP-USB SO-VPDxT/BL-CP-NET SO-VPDxT/BL-USB SO-VPDxT/BL-NET SHARK-x/BD-CP-USB SHARK-x/BD-CP-NET SHARK-x/BD-USB SHARK-x/BD-NET SHARK-x/DVD-USB SHARK-x/DVD-NET (※3)	SO-VPDxT/DVD-USB SO-VPDxT/DVD-NET SO-VPDxT/BL-CP-USB SO-VPDxT/BL-CP-NET SO-VPDxT/BL-USB SO-VPDxT/BL-NET SHARK-x/BD-CP-USB SHARK-x/BD-CP-NET SHARK-x/BD-USB SHARK-x/BD-NET SHARK-x/DVD-USB SHARK-x/DVD-NET
PC必要環境		100GB以上の空き容量 Blu-ray 読込ドライブ	20GB以上のHDD空き容量 DVD 読込ドライブ	

※1 上記容量は一般的な目安です。ディスクのファイル構成によっては、対応マスター容量が減ることがあります。

※2 一部機能制限があります。DVDライター機能を搭載したPC環境が必要です。

※3 ファームウェアバージョン 3.35/5.35 以降のバージョンに対応 (2016年7月以降出荷のモデルは全て対応)

- Vガードは、デジタルコピーにのみ効力があります。アナログコピー（映像・音声ケーブルをデッキに接続してのダビングなど）へは効力がありません。
- コピーガードを取り除く機能のある特殊ソフト（リッピングソフト等）や同等の機能を持った機材に対して、100%のガード機能は保証いたしかねます。

## 簡易方式 対応 BD-R

「簡易方式」はVガードディスクを作成するためのライセンスを必要としませんが、以下の対応BD-Rが必要です。これらのBD-Rは通常コピーにも使用できます。

型名	PLX-BR06WP50	PLX-BR06LD25
対応速度	1-6X	1-6X
盤面	インクジェット ホワイトプリンタブル	耐水ホワイト インクジェットプリンタブル
入数/パッケージ	50枚/スピンドルケース	25枚/スピンドルケース

## VCP方式/BCP方式 専用ライセンス



「VCP方式」や「BCP方式」ではVガードのディスクを作成するための対応ブランクディスクを必要とせず、一般的なブランクディスクがご使用できますが、Vガード用マスターを作成するためのライセンスを必要とします。

ライセンスは有償のUSB Dongleで提供しています。

型名	VPD-CPS15	VPD-CPS30	VPD-CPS50	VPD-CPS100	VPD-CPS200
ライセンス数	15	30	50	100	200

- ライセンスはマスターディスクから取ったイメージを変換する際に消費されます。
- VCP方式では1ライセンス、BCP方式では3ライセンスを一度の変換作業で消費します。
- 一度変換したイメージからは、追加ライセンスなしにガード付きディスクが何枚でも作成できます。

## OCP方式 対応DVD-R

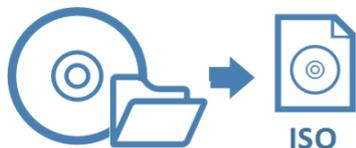
「OCP方式」はVガードディスクを作成するためのライセンスを必要としませんが、以下の対応DVD-Rが必要です。これらのDVD-Rは通常コピーにも使用できます。

型名	PLX-DR16WP100	PLX-DR16LD50
対応速度	1-16X	1-16X
盤面	インクジェット ホワイトプリンタブル	耐水ホワイト インクジェットプリンタブル
入数/パッケージ	100枚/スピンドルケース	50枚/スピンドルケース

## イメージファイルの利用について

Blu-ray簡易方式を除く、BCP/OCP/VCP各方式においては「イメージファイル」を利用します。

イメージファイルとは、ディスクに記録された全てのデータを1つのファイルにした物です。ディスクイメージとも呼ばれます。



Vガードを利用するマスターがディスクに記録済の場合は、PCでディスクを読み込み、Vガードのイメージファイルへ変換します。マスターがPC内にファイル/フォルダで用意されている場合は、PC上でISO形式のイメージファイルを作成してからVガードのイメージファイルへ変換します。

- Vガード用のイメージファイルを作成するソフトウェア・・・CopyLock
- ファイル/フォルダからISO形式のイメージファイルを作成するソフトウェア・・・ImgBurn

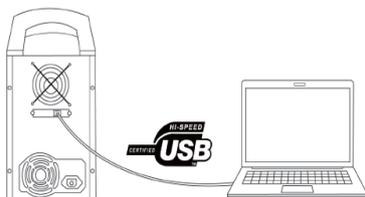
PCでVガード用のイメージファイルを作成したら、デュプリケータ内のHDDに移動します。

イメージファイルを移動する手段は2種類あります。

- USBまたはLANで接続し、外部接続モードを切替えてイメージファイルを転送する。

※

接続方式はモデルによって異なります。



- イメージファイルをPCの光学ドライブでディスクに記録し、デュプリケータでロードする。



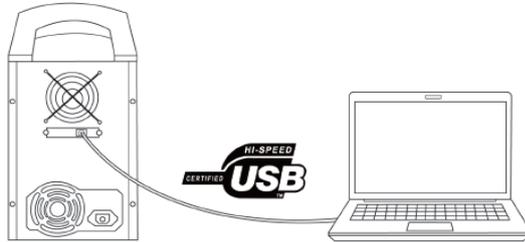
いずれかご都合の良い方法を選んでご利用下さい。

当説明書内では方式別に手順を記載していますので、詳しくは利用する方式の項をご覧ください。

# USB接続ドライバのインストール

「BCP方式」「VCP方式」ではPCで作成したイメージファイルをデuplicレータへ転送します。

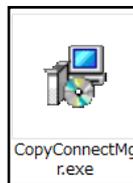
USB接続ドライバをインストールすることで、USB接続されたデuplicレータの内蔵HDDへPCからアクセスできるようになります。



対象機種

SO-VPDxx-USB  
SO-VPDxx-NET  
SHARK-xx-USB  
SHARK-xx-NET

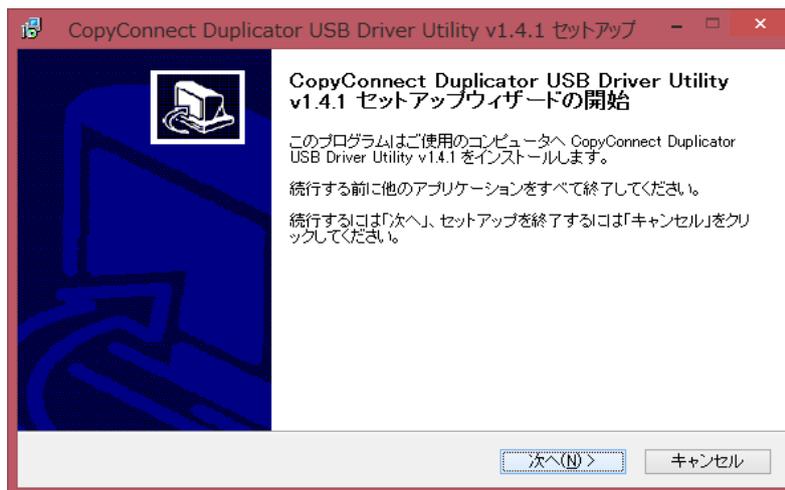
1. 付属のCD-ROMに収録された、「Copy ConnectMgr.exe」を起動します。



ファイルの場所：

ソフトウェア > USBコピーコネク

2. インストールウィザードが起動するので「次へ」をクリックします。

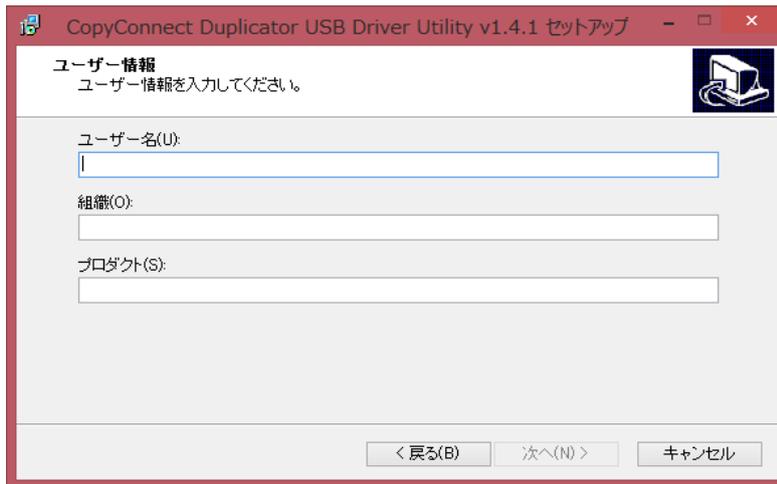


3. 「同意する」を選び「次へ」をクリックします。



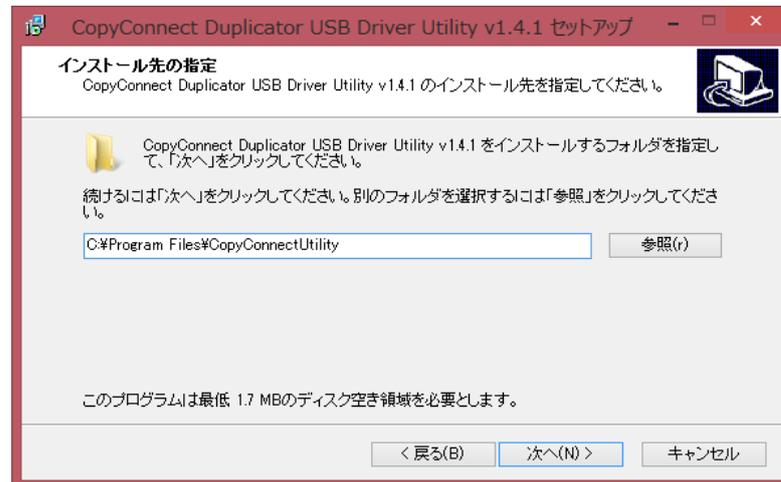
## USB接続ドライバのインストール

4. 「ユーザー名」「組織」、及び下記の「プロダクト（キー）」を入力し、「次へ」をクリックします。



**[Copy Connect Product Key]  
XKJGK-XCDJB**

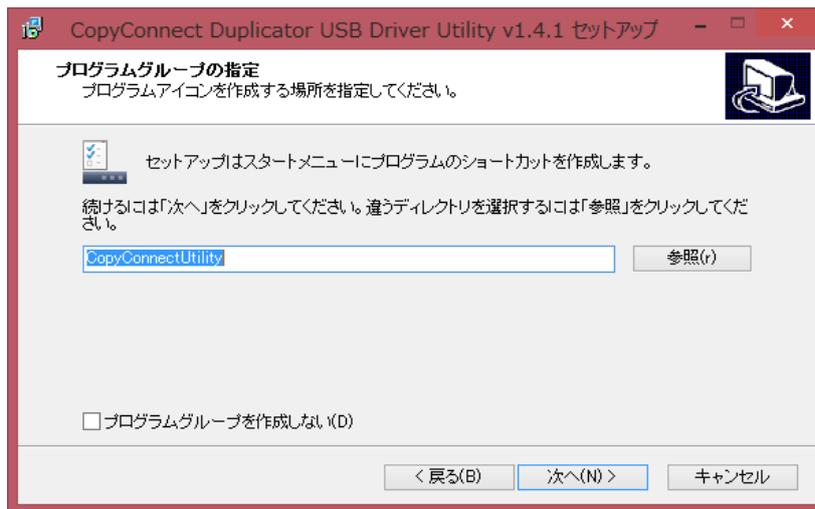
5. 「次へ」をクリックします。



6. 「次へ」をクリックします。



7. 「次へ」をクリックします。

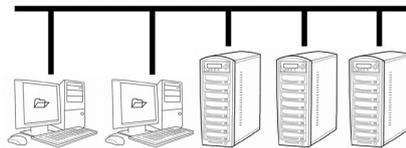


8. 「完了」をクリックします。



## ネットワーク接続ツールのインストール

「BCP方式」「VCP方式」ではPCで作成したイメージファイルをデュプリケータへ転送します。  
 ネットワーク接続ツールをインストールすることで、ネットワーク接続されたデュプリケータの内蔵HDDへPCからアクセスできるようになります。



対象機種

SHARK-xx-NET

SO-VPDxx-NET

1. 付属のCD-ROMに収録された、「DuplicatorNetworkCenter.exe」を起動します。



ファイルの場所：ソフトウェア > デュプリケータネットワークセンター

2. インストールウィザードが起動するので「次へ」をクリックします。



3. 「同意する」を選び「次へ」をクリックします。



## ネットワーク接続ツールのインストール

- 「ユーザー名」「組織」、及び下記の「プロダクト（キー）」を入力し、「次へ」をクリックします。



Product Key :  
S8T32-LKCP6

- 「次へ」をクリックします。



- 「次へ」をクリックします。



7. 「次へ」をクリックします。

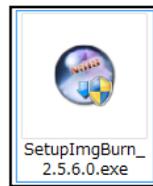


8. 「完了」をクリックします。



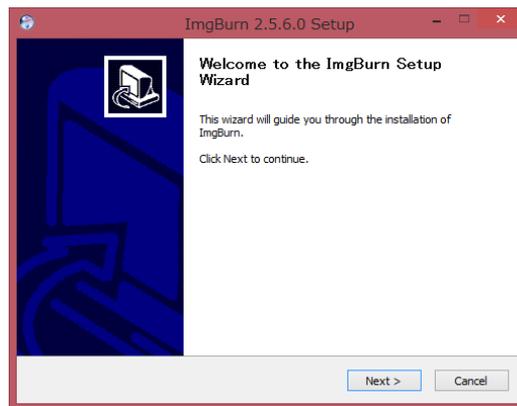
# ImgBurnのインストール

1. 付属のCD-ROMに収録された、「SetupImgBurn\_X.X.X.X.exe」を起動します。



ファイルの場所 : ソフトウェア > ImgBurn

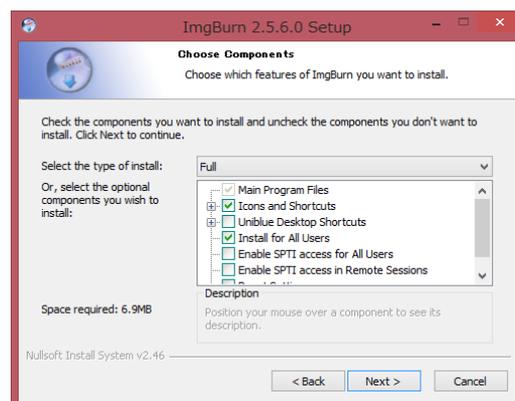
2. インストールウィザードが起動するので「Next」をクリックします。



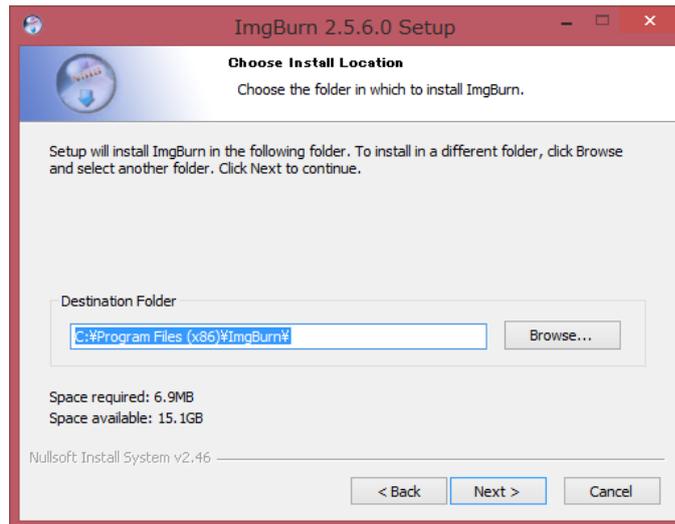
3. 「I accept...」をチェックして「Next」をクリックします。



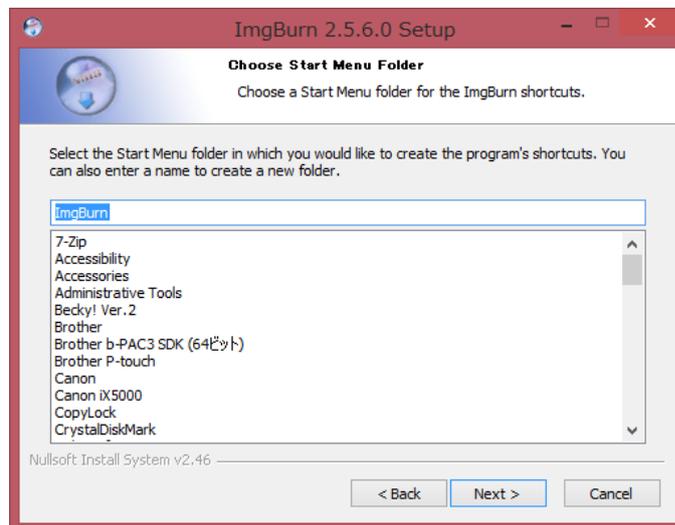
4. 「Next」をクリックします。



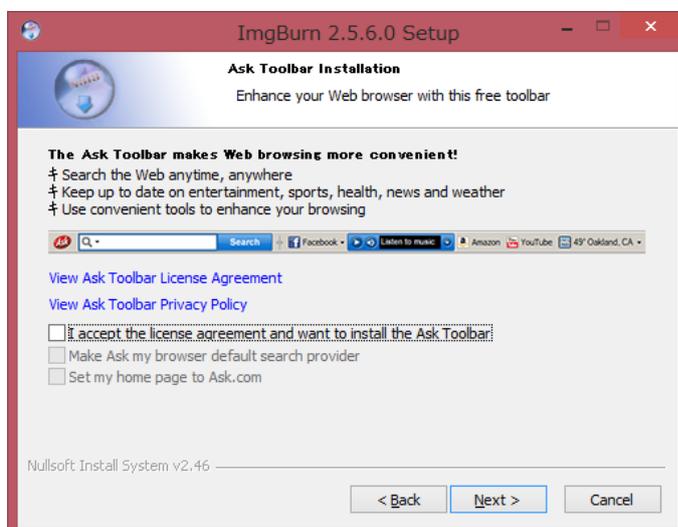
5. 「Next」をクリックします。



6. 「Next」をクリックします。



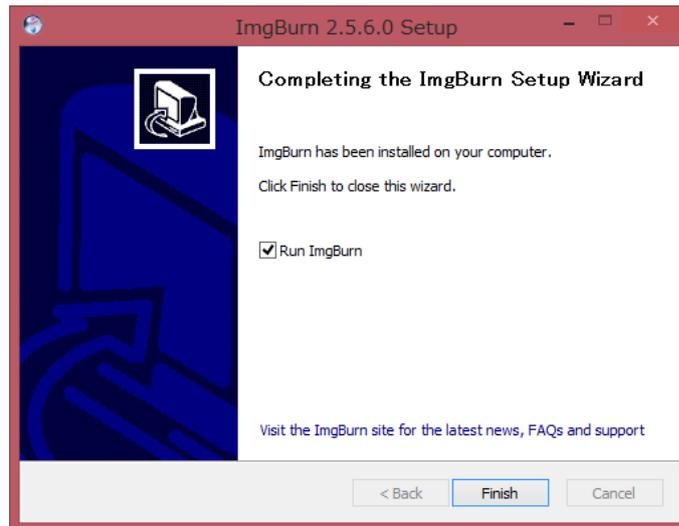
7. 「I accept ...」のチェックマークを外し、「Next」をクリックします。



※ご注意

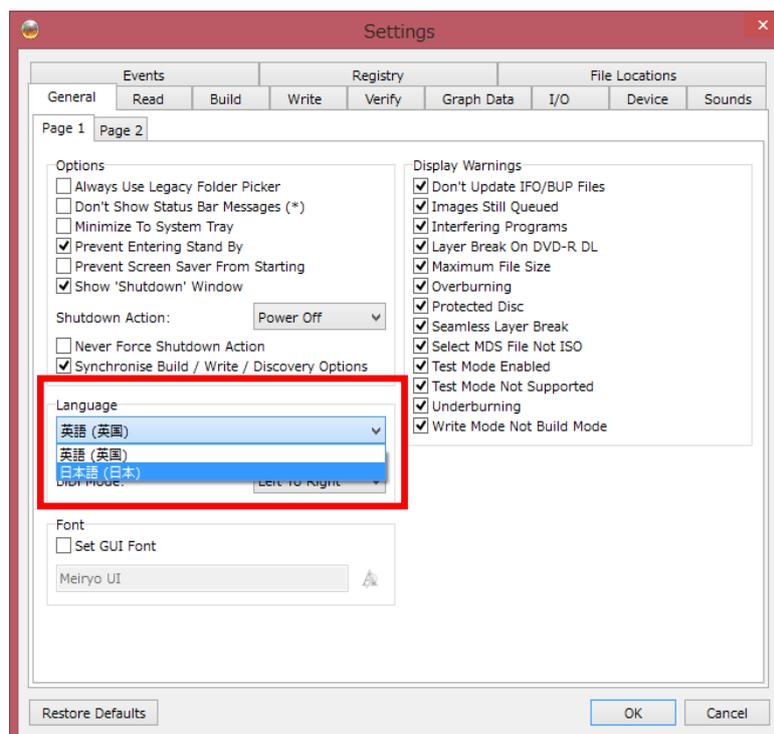
チェックマークをつけたまま、インストールを完了させると、不要なソフトウェアがインストールされます。

7. 「Finish」をクリックしてインストールを完了させます。



## ImgBurn 日本語化手順

1. 付属のCDを開き、目次のソフトウェア内「ImgBurn」→「日本語表示用ファイル」の項目からフォルダを開き、その中にあるJapanese(.lng)ファイルをImgBurnのインストール先フォルダの「Languages」フォルダ内にコピーする。
2. ImgBurnを起動し、メニュー「Tools」から「Settings...」をクリックする。
3. 「General」タブ、「Page1」タブをクリックする。
4. 「Language」のリストから「日本語」を選択し「OK」ボタンを押す。



※ ImgBurnのインストール先フォルダは、前ページの項目5で指定されているフォルダとなります。

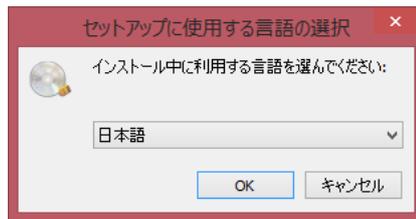
# CopyLockのインストール

1. 付属のCD-ROMに収録された、「CopyLock3XXX.exe」を起動します。



ファイルの場所：ソフトウェア > Vガード

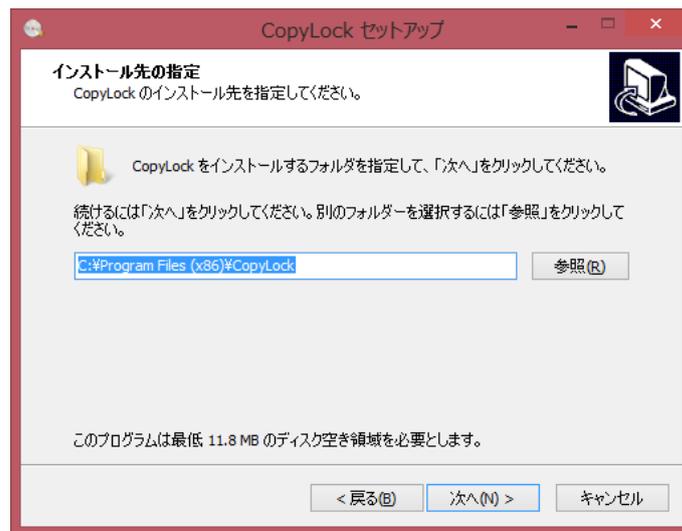
2. 「OK」をクリックします。



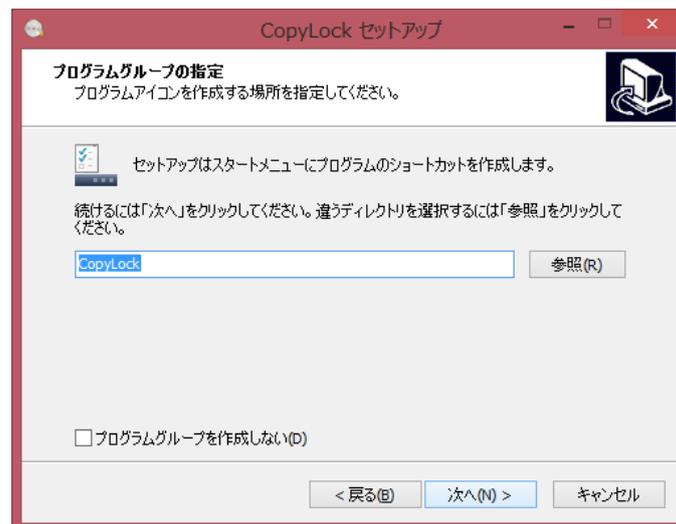
3. 「次へ」をクリックします。



4. 「次へ」をクリックします。

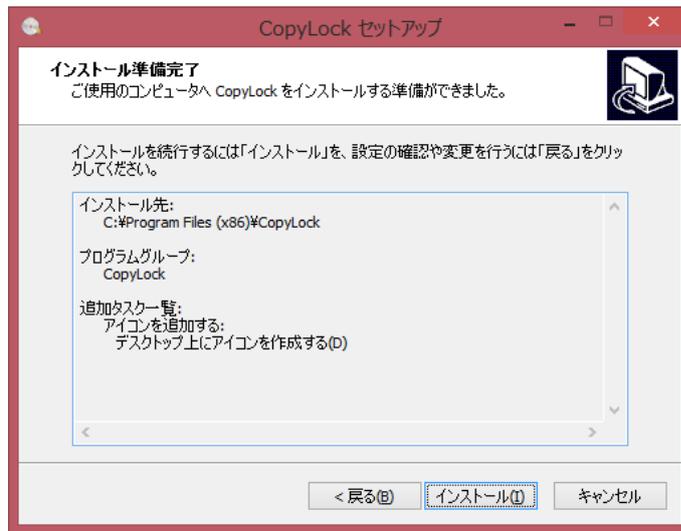


5. 「次へ」をクリックします。



6. 「次へ」をクリックします。

7. 「インストール」をクリックします。



8. 「完了」をクリックします。



## 簡易方式 ガード付きBlu-ray作成手順

「簡易方式」では、専用のブランクBD-Rを使用します。専用のUSB dongleやイメージファイルの変換作業が必要ありません。デuplicータで直接ガード付きBlu-rayを作成できるので他の方式より少ないステップでガード付きディスクを作成できます。

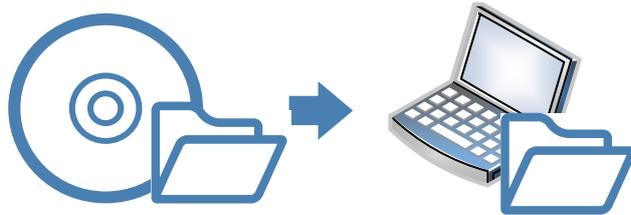
使用するマスターディスクには、以下の対応条件があります。

- ディスク内の映像データが、先頭から順番通りに書き込まれていること
- フォルダ構成が「BDMV」「CERTIFICATE」もしくは「BD-DAV」「AACMS」から成ること

対応していないマスターディスクからガード付きディスクを作成しようとすると、「マスターディスクを作り直して下さい。」というエラーが起こります。本書では、予めImgBurnにて映像データの順番を整えた「第二マスターディスク」を作成する方法をご説明します。これにより、上記条件を満たさないマスターディスクからもガード付きBlu-rayが作成できます。

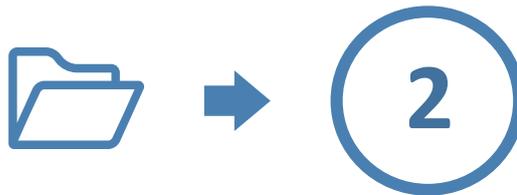
### STEP 1

マスターディスク内のファイル/フォルダをPCに取り込む



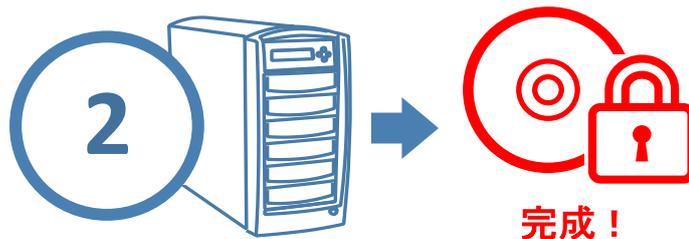
### STEP 2

第二マスターディスクを書き出す



### STEP 3

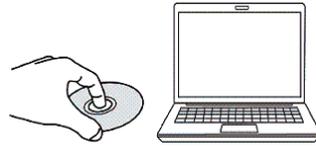
第二マスターディスクからガード付きBlu-rayを作成する



## STEP 1 マスターディスクのファイル/フォルダをPCへ取り込む

1. マスターディスクをPCに挿入します。

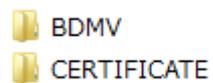
自動的にプレイヤーが起動し、ディスクが再生される場合は終了させます。



2. 「コンピューター (PC)」を開きます。
3. マスターディスクを挿入したドライブを右クリックし、「開く」をクリックします。



4. 以下 2つのフォルダをPCのHDDへコピーします。CERTIFICATEフォルダがない場合は、BDMVフォルダのみをコピーします。フォルダやファイルの構成は変更しないでください。



## STEP 2 第二マスターディスクを書き出す

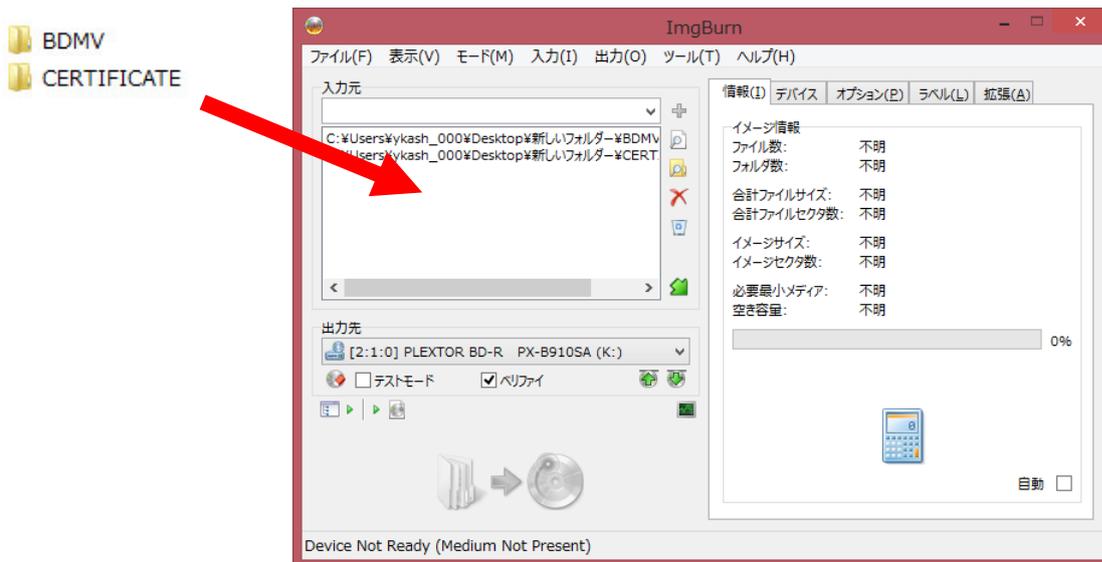
1. ImgBurnを起動します。



2. 作業一覧から「ファイル/フォルダをディスクに書き込み」をクリックします。



3. 入力元のフィールドに先程PCへコピーした「BDMV」と「CERTIFICATE」のフォルダをドラッグ&ドロップします。



4. 「デバイス」タブをクリックし、「書き込み速度」を「4X」に設定します。
5. 「ラベル」タブをクリックし、UDFフィールドにボリュームラベルを入力します。



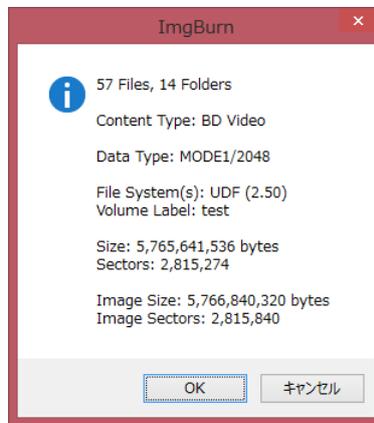
6. マスターディスクをPCから排出し、空のBD-RディスクをPCに挿入します。  
既にインストールされているライティングソフトウェアが自動起動する場合は、終了させます。



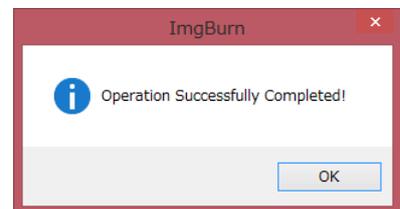
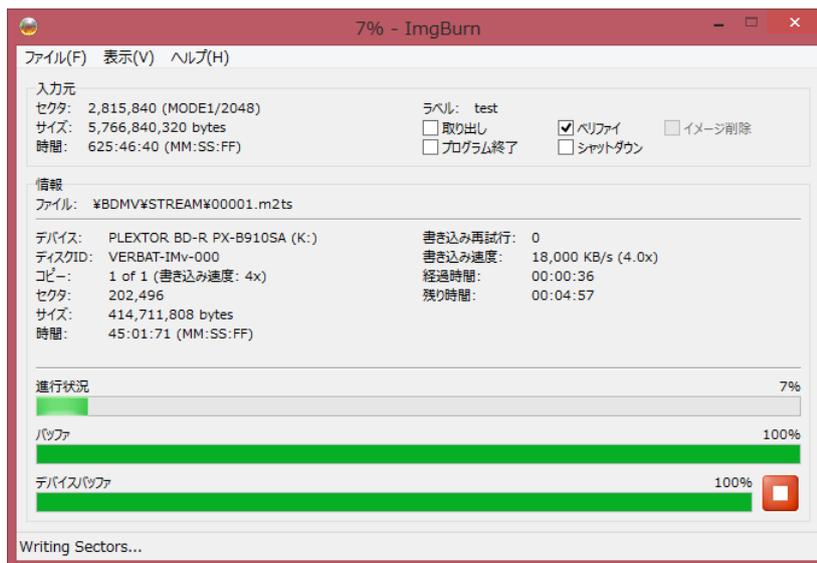
7. ウィンドウ左下の構築アイコンをクリックします。



8. 書込条件を確認し、「OK」をクリックします。

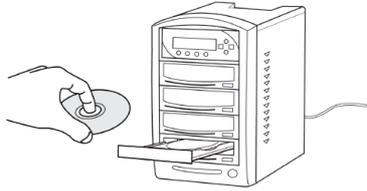


9. 書込が始まります。書込が正常に終了すると「Operation Successfully Completed!」と表示されます。



### STEP 3 第二マスターディスクからガード付きBlu-rayを作成する

1. 第二マスターディスクを読込ドライブに、専用BD-R空白ディスクを書込ドライブにそれぞれセットします。



2. メニュー画面より「2.BD簡易プロテクション」を選択して「ENT」ボタンを押します。

VinpowerDigital X. XX  
2. BD簡易プロテクション

漢字表示モデル

VinpowerDigital X. XX  
2. BDイージープロテクション

カナ表示モデル

3. コピーの後にベリファイを行う場合は「はい」を、コピーのみの場合は「いいえ」を選択し「ENT」ボタンを押します。

自動ベリファイ？  
いいえ

4. ディスクが検出され、自動的にコピーが始まります。
5. コピー完了後、自動的にディスクが排出され、結果が表示されます。

成功 \*\* 失敗 \*\* (\*\*)  
空白ディスクを入れてください

カッコ内には連続でコピーしたときの  
合計ディスク枚数が表示されます。



以上で簡易ガード付き Blu-rayの完成です。

**※重要**

ベリファイが行えるのは初回のみです。コピー完了後に改めてベリファイは行えません。  
BD簡易方式は、コンペア機能を利用できません。  
コンペアが必要な場合は、BCP方式をご利用下さい。

## BCP方式 ガード付き ディスク作成手順

「BCP方式」ではライセンス入のUSB dongleを使用します。専用のブランクBD-Rは必要ありません。

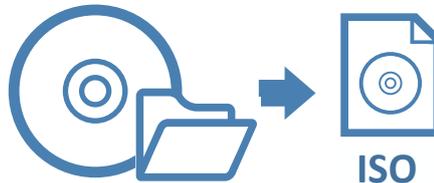
使用するマスターディスクには、以下の対応条件があります。

- ディスク内の映像データが、先頭から順番通りに書き込まれていること
- フォルダ構成が「BDMV」「CERTIFICATE」もしくは「BD-DAV」「AACMS」から成ること

対応していないマスターディスクからガード付きディスクを作成すると、「マスターディスクを作り直して下さい。」というエラーが起こります。本書では、マスターディスク内の「BDMV」「CERTIFICATE」フォルダを指定しISOイメージを作成する方法をご説明します。これにより、専用のブランクBD-Rではないマスターディスクからもガード付きBlu-rayが作成できます。

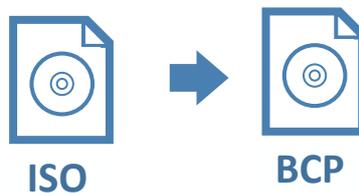
### STEP 1

マスターディスク内のファイル/フォルダからISOイメージを作成する



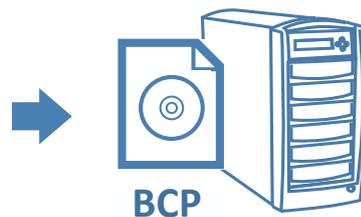
### STEP 2

ISOイメージからBCPイメージへ変換する



### STEP 3

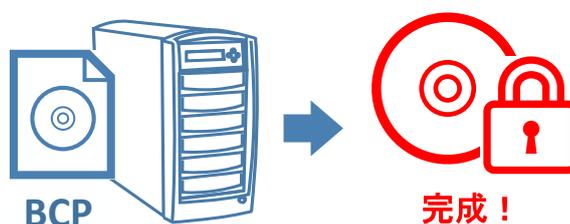
BCPイメージをデュプリケータへ転送する



変換後のイメージをディスクに記録し、転送せずにオンザフライで直接コピーする方法もあります。手順は「BCP/OCP/VCP共通 ダイレクトコピー」のページをご覧ください。(FW3.47/5.47以降)

### STEP 4

BCPイメージからガード付きBlu-rayを書き出す

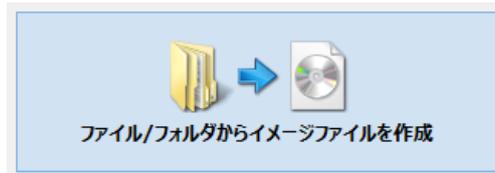


## STEP 1 マスターディスク内のファイル/フォルダからISOイメージを作成作成する

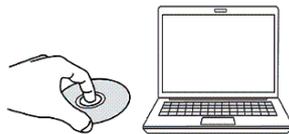
1. ImgBurnを起動します。



2. 作業一覧から「ファイル/フォルダからイメージファイルを作成」をクリックします。



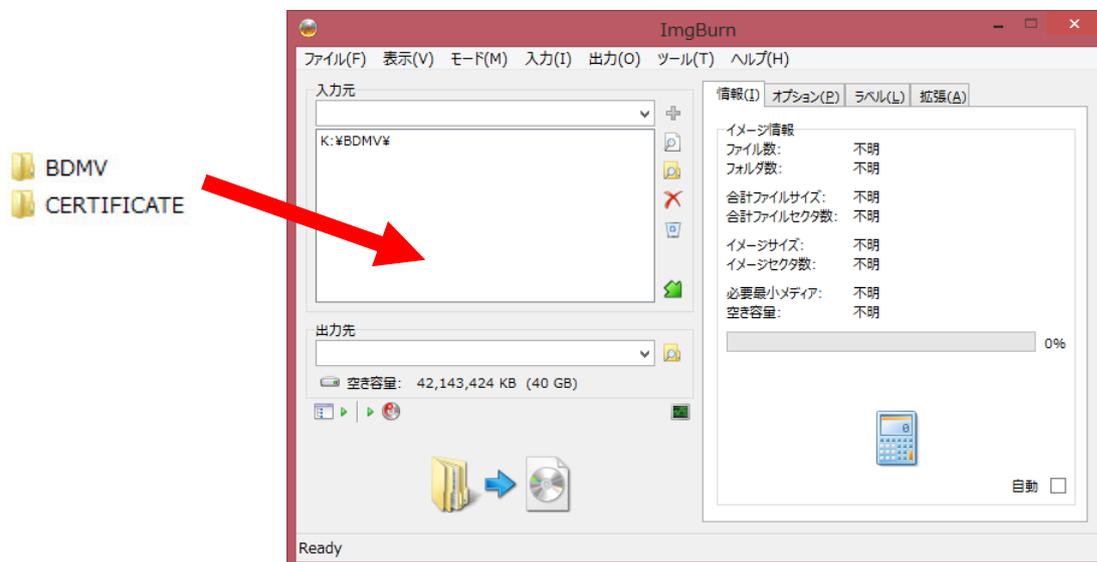
3. マスターディスクをPCに挿入します。ディスクが自動再生される場合はプレーヤーを終了させます。



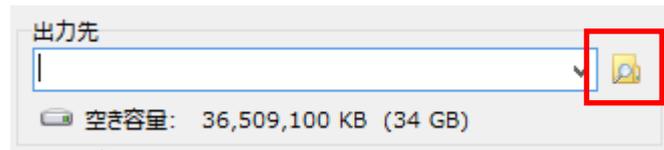
4. 「コンピューター (PC)」を開きます。
5. マスターディスクを挿入したドライブを右クリックし、「開く」をクリックします。



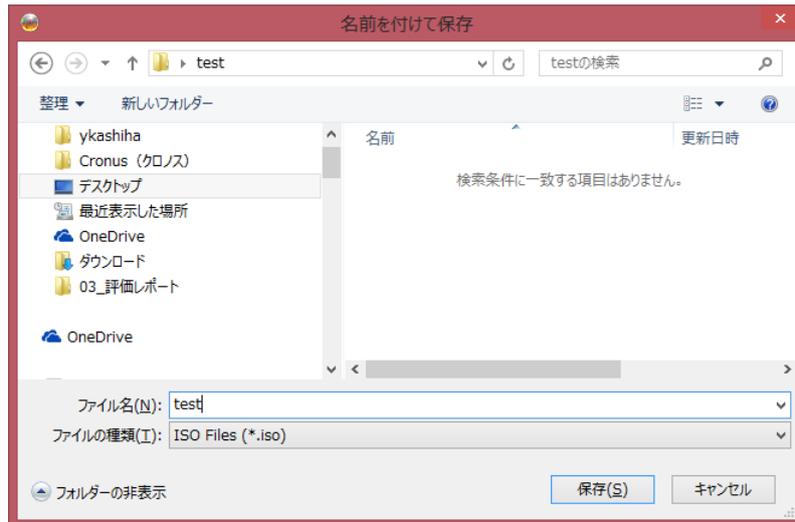
6. 入力元のフィールドにディスク内の「BDMV」と「CERTIFICATE」のフォルダをドラッグ&ドロップします。



7. 出力先の「フォルダ参照」ボタンをクリックします。



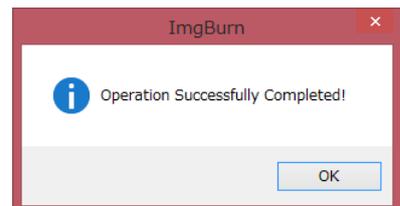
8. 保存場所を選択し、ファイル名を入力したら「保存」をクリックします。  
 ※ファイル名は半角英数字にします。



9. ウィンドウ左下の構築アイコンをクリックします。



10. ファイル作成が始まります。正常に終了すると「Operation Successfully Completed!」と表示されます。

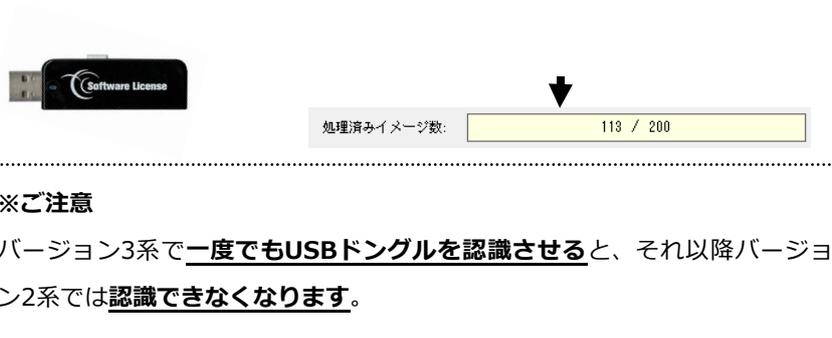


## STEP 2 ISOイメージをBCPイメージへ変換する

1. CopyLock を起動します。



2. PCへUSB dongleを挿入します。CopyLockの処理済みイメージ数の欄に使用済ライセンス数が表示されます。



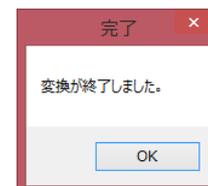
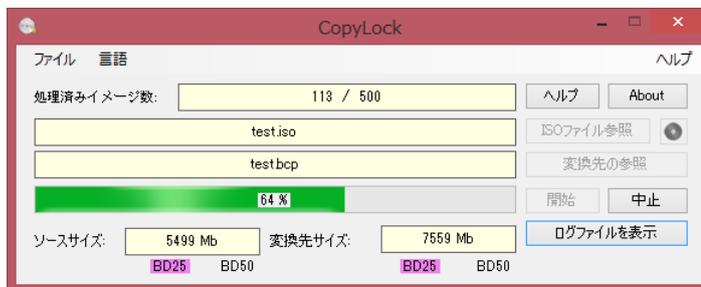
3. 「ISOファイルの参照」をクリックし、先程作成したイメージを選択し、「開く」をクリックします。イメージ名、ソースサイズ、ディスクのタイプ、変換先のサイズが表示されます。



後ほどガード付きディスクを作る際、BD25は片面1層（25GB）以上、BD50は片面2層（50GB）以上のブランクディスクが必要となります。

※ ファイル名に全角文字が含まれていると正常に変換できない場合があります。  
ISOファイルのファイル名は半角英数字にしてください。

4. 「変換先の参照」をクリックし、これから作成する変換済みイメージの保存先を指定します。
5. 開始をクリックすると、変換が始まります。  
※BCP方式では、一度の変換作業で3ライセンスを消費します。
6. 100%になると「変換が終了しました。」と表示されます。

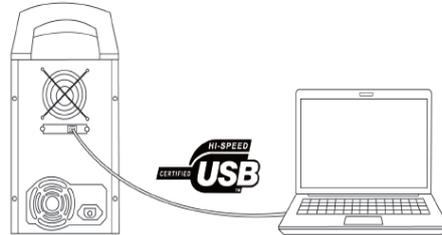


## Tips

「変換先の参照」にデュプリケータの内蔵HDDを指定することもできます。予めデュプリケータを接続し、変換作業を行いながらファイル転送すると時間が短縮できます。

### STEP 3 BCPイメージをデュプリケータへ転送する

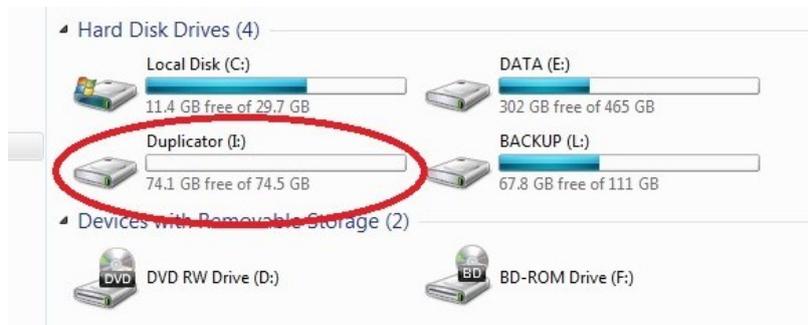
1. PCとデュプリケータをUSBケーブルで接続します。ネットワーク経由で接続する場合は「デュプリケータをネットワーク経由でPCと接続する方法」のページをご参照ください。



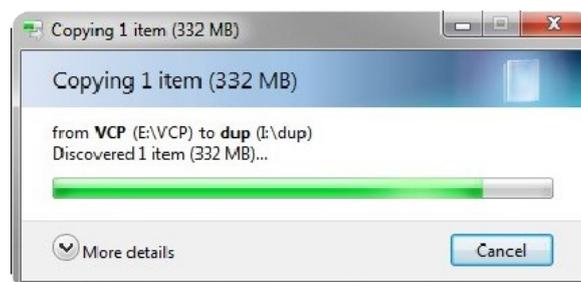
2. 以下の手順でデュプリケータをPC上で認識させます。
  - デュプリケータを起動させます。
  - 「▲」「▼」ボタンで「12.システムセットアップ」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
  - 「▲」「▼」ボタンで「14.外部接続設定」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
  - 「▲」「▼」ボタンで「オン」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
 数秒で、設定が反映され、画面が戻ります。

外部接続設定  
オン

3. デュプリケータに内蔵されているHDDがPC上で「Duplicator」として認識されます。



4. 「Duplicator」を開き、「Dup」フォルダに作成したBCPファイルを転送します。



- ※ 「\_message」と末尾に付くファイルは、CopyLockソフトウェアのログファイルです。イメージファイルではないので転送しないでください。

5. 以下の手順でデュプリケータとPCの接続を解除します。

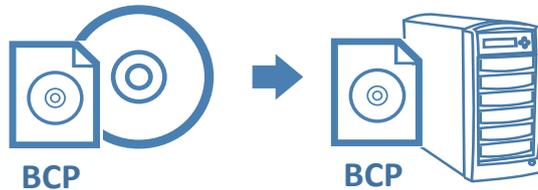
- 「▲」「▼」ボタンで「12. システムセットアップ」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
- 「▲」「▼」ボタンで「14. 外部接続設定」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
- 「▲」「▼」ボタンで「オフ」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。  
しばらくすると、表示が変わり、PCとの接続が解除されます。

※重要

1GB以下のBCPイメージを転送した場合、ダミーを書き込む時間が必要です。ファイル転送後一分程度待ってから接続を解除してください。

## PCとデュプリケータを接続せず、BCPイメージをデュプリケータに移す方法

「CPIファイルロード」機能を使用することで、PCとデュプリケータを接続しないでBCPイメージをデュプリケータに移すことができます。



1. ImgBurnの「ファイル/フォルダをディスクに書き込み」でBCPイメージをデータディスクとしてBD-Rブランクディスクに書込みます。



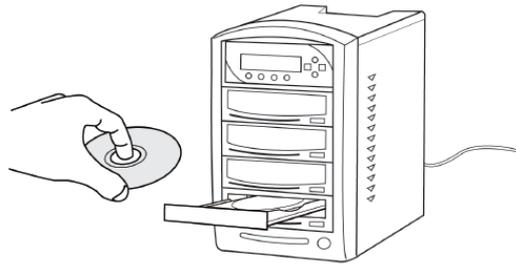
※重要

ImgBurnの画面右側にある「オプション」タブを選び、項目から「ファイルシステム」を【UDF】  
「UDFリビジョン」を【2.60】  
を選んでから記録して下さい。

2. 出来上がったディスクをデュプリケータのマスタードライブに挿入し、メニュー「11.CPIユーティリティ」内の「3.CPI ファイル ロード」を選択し、「ENT」を押します。

CPIユーティリティ  
3. CPI ファイル ロード

## STEP 4 BCPイメージからガード付きディスクを作成する



CPIユーティリティのダイレクトコピーを利用する場合は、この手順は必要ありません。

1. 書込ドライブに空白ディスクをセットします。
2. 「▲」「▼」ボタンで「8.ソース選択」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
3. 「▲」「▼」ボタンで「ハードディスク」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
4. 「▲」「▼」ボタンで「1. コピー」または「5. コピー+コンペア」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
5. デュプリケータ内蔵HDDのイメージファイルが表示されます。  
「▲」「▼」ボタンを押して、先ほど転送したファイルを選びます。
6. 「ENT」ボタン押し、コピーを開始します。
7. コピー完了後、自動的にディスクが排出され、結果が表示されます。

成功 \*\* 失敗 \*\* (\*\*)  
空白ディスクを入れてください

カッコ内には連続でコピーしたときの合計ディスク枚数が表示されます。



以上でBCP方式 ガード付きBlu-rayの完成です。

※重要

作成後のガード付きディスクは、コンペア機能を使用できません。

コンペアができるのは「コピー+コンペア」実行時のみです。

そのため、コンペアを実施したい場合はこのメニューから必ず「コピー+コンペア」を選び、実行して下さい。

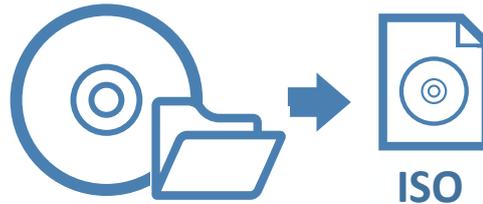
## OCP方式 ガード付きディスク作成手順

「OCP方式」では、記録先に専用のDVD-Rを使用します。ライセンス入りUSB dongleは必要ありません。ライセンスを消費することなく、ガード付きDVDの元となるOCPイメージを作成できます。

※ 専用DVD-Rの購入については販売店もしくは本書裏面に記載の窓口にお問い合わせ下さい。

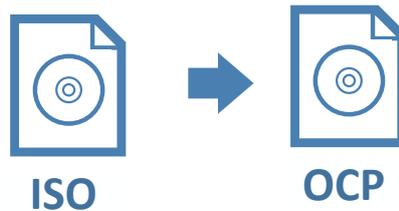
### STEP 1

マスターディスク内のファイル/フォルダからISOイメージを作成する



### STEP 2

ISOイメージからOCPイメージへ変換する



### STEP 3

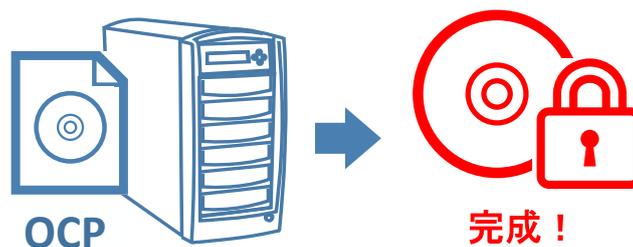
OCPイメージをデュプリケータへ転送する



変換後のイメージをディスクに記録し、転送せずにオンザフライで直接コピーする方法もあります。手順は「BCP/OCP/VCP共通 ダイレクトコピー」のページをご覧ください。(FW3.47/5.47以降)

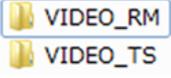
### STEP 4

OCPイメージからガード付きDVDを書き出す



## 【使用するマスターディスクの対応条件】

DVD-Video形式ではルート直下に「VIDEO\_TS」フォルダと「AUDIO\_TS」フォルダが作られています。この2つのフォルダ以外がある場合、または「AUDIO\_TS」フォルダが無い場合は非準拠のためプロテクト処理が失敗、または再生が正常に行えないディスクとなる場合があります。

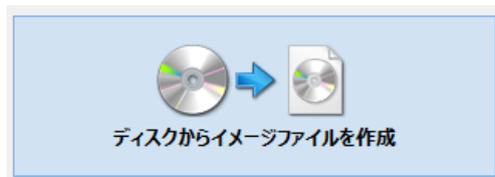
	<p>【例：VIDEO_RMフォルダが有り、AUDIO_TSフォルダが無い】</p> <p>DVD+RW規格で用いられる「VIDEO_RM」フォルダが用意されている場合はDVD-Videoとは異なる仕様のためガード処理が行えません。しかしながら「VIDEO_RM」フォルダは再生に必要な情報が入っているため、フォルダを消去した場合には再生が行えなくなります。プロテクトを掛けるには、DVD-Videoの再オーサリングを行い、「VIDEO_TS」と「AUDIO_TS」以外のフォルダがない形式で改めてマスターの作成を行って下さい。</p> <p>「AUDIO_TS」フォルダが無い場合は「AUDIO_TS」の名前のフォルダを新規に作成して下さい。中は空のままにします。</p>
---	---

## STEP 1 マスターディスクからISOイメージを作成する

1. ImgBurnを起動します。



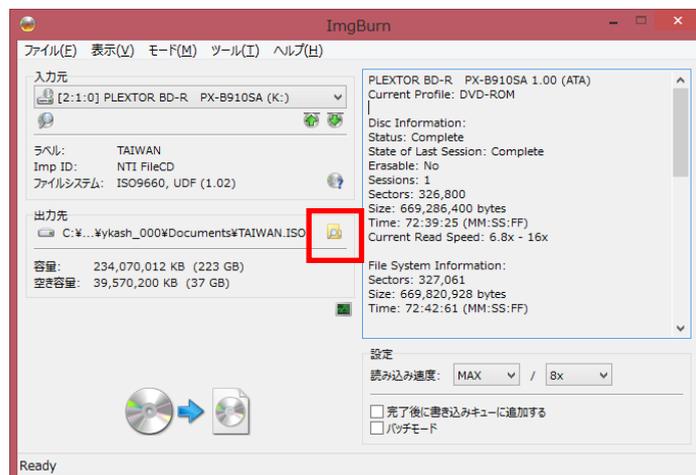
2. 作業一覧から「ディスクからイメージ作成」をクリックします。



3. マスターディスクをPCに挿入します。ディスクが自動再生される場合はプレーヤーを終了させます。

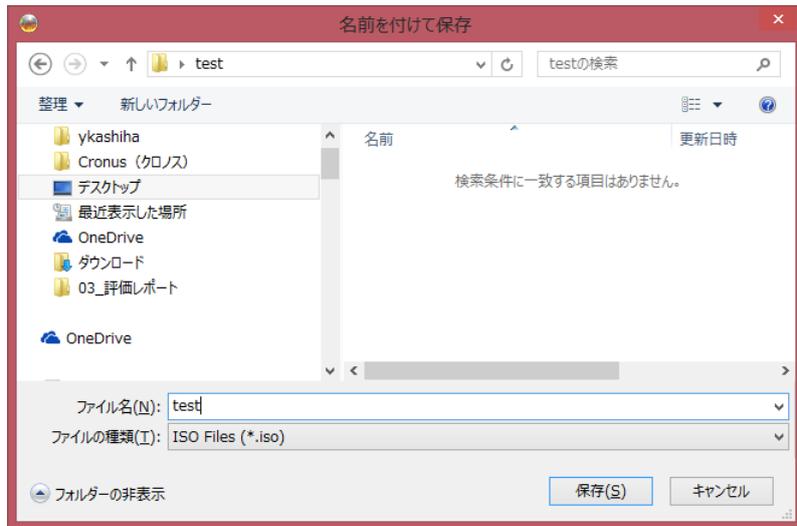


4. 出力先の「フォルダ参照」ボタンをクリックします。



5. 保存場所を選択し、ファイル名を入力したら「保存」をクリックします。

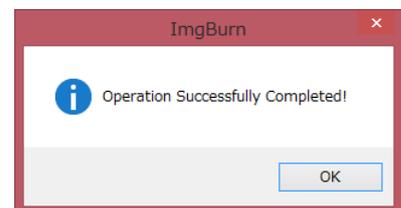
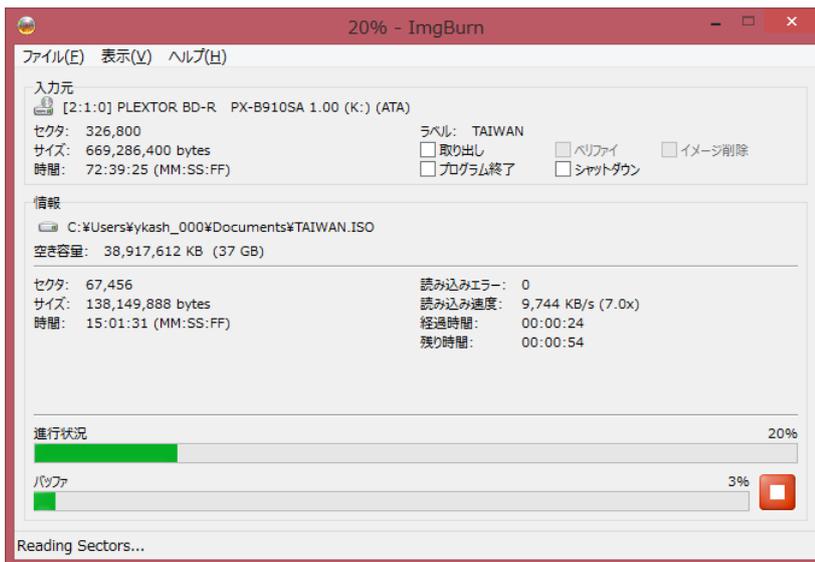
※ファイル名は半角英数字にします。



6. ウィンドウ左下の読み込みアイコンをクリックします。



7. ファイル作成が始まります。正常に終了すると「Operation Successfully Completed!」と表示されます。



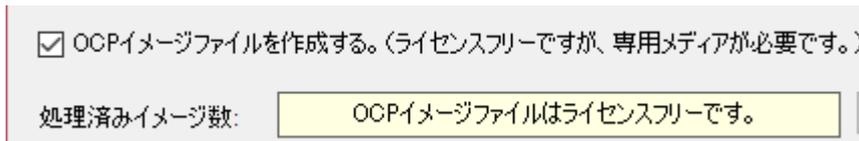
## STEP 2 ISOイメージをOCPイメージへ変換する

1. CopyLock を起動します。



※OCP機能を使用するには  
Copy Lock V3.2.0.0 以降の  
インストールが必要です。

2. 「OCPイメージファイルを作成する」をチェックします。CopyLockの処理済みイメージ数の欄に「OCPイメージは」ライセンスフリーです。」と表示されます。



3. 「ISOファイルの参照」をクリックし、先程作成したイメージを選択し、「開く」をクリックします。イメージ名、ソースサイズ、ディスクのタイプ、変換先のサイズが表示されます。

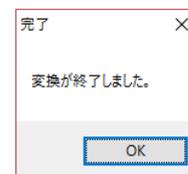


後ほどガード付きディスクを作る際、DVD5は片面1層（4.7GB）以上、DVD9は片面2層（8.4GB）以上のブランクディスクが必要となります。

※ ファイル名に全角文字が含まれていると正常に変換できない場合があります。  
ISOファイルのファイル名は半角英数字にしてください。

3. 「変換先の参照」をクリックし、これから作成する変換済みイメージの保存先を指定します。
4. 開始をクリックすると、変換が始まります。

5. 100%になると「変換が終了しま

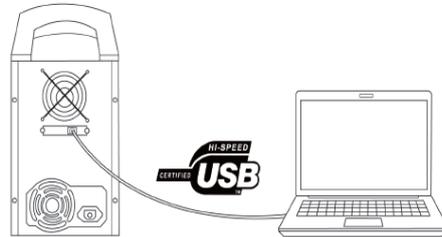


### Tips

「変換先の参照」にデuplicレータの内蔵HDDを指定することもできます。予めデuplicレータを接続し、変換作業を行いながらファイル転送すると時間が短縮できます。

### STEP 3 OCPイメージをデュプリケータへ転送する

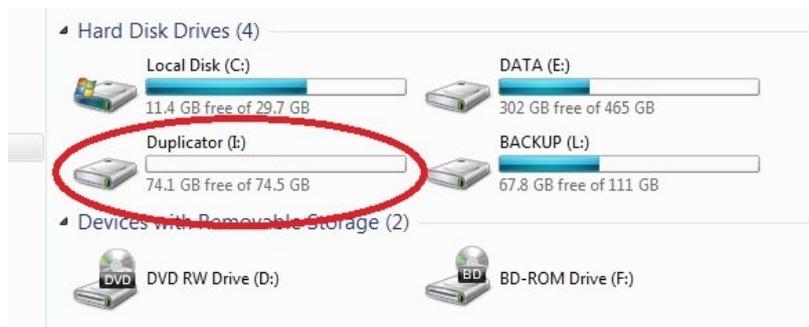
1. PCとデュプリケータをUSBケーブルで接続します。ネットワーク経由で接続する場合は「デュプリケータをネットワーク経由でPCと接続する方法」のページをご参照ください。



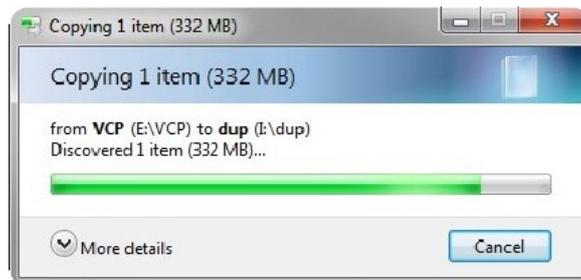
2. 以下の手順でデュプリケータをPC上で認識させます。
  - デュプリケータを起動させます。
  - 「▲」「▼」ボタンで「12.システムセットアップ」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
  - 「▲」「▼」ボタンで「14.外部接続設定」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
  - 「▲」「▼」ボタンで「オン」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
 数秒で、設定が反映され、画面が戻ります。

外部接続設定  
オン

3. デュプリケータに内蔵されているHDDがPC上で「Duplicator」として認識されます。



4. 「Duplicator」を開き、「Dup」フォルダに作成したOCPファイルを転送します。



※ 「\_message」と末尾に付くファイルは、CopyLockソフトウェアのログファイルです。イメージファイルではないので転送しないでください。

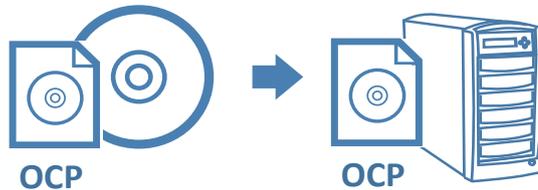
5. 以下の手順でデュプリケータとPCの接続を解除します。
- 「▲」「▼」ボタンで「12. システムセットアップ」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
  - 「▲」「▼」ボタンで「14. 外部接続設定」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
  - 「▲」「▼」ボタンで「オフ」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。  
しばらくすると、表示が変わり、PCとの接続が解除されます。

**※重要**

1GB以下のOCPイメージを転送した場合、ダミーを書き込む時間が必要です。ファイル転送後一分程度待ってから接続を解除してください。

## PCとデュプリケータを接続せず、OCPイメージをデュプリケータに移す方法

「CPIファイルロード」機能を使用することで、PCとデュプリケータを接続しないでOCPイメージをデュプリケータに移すことができます。

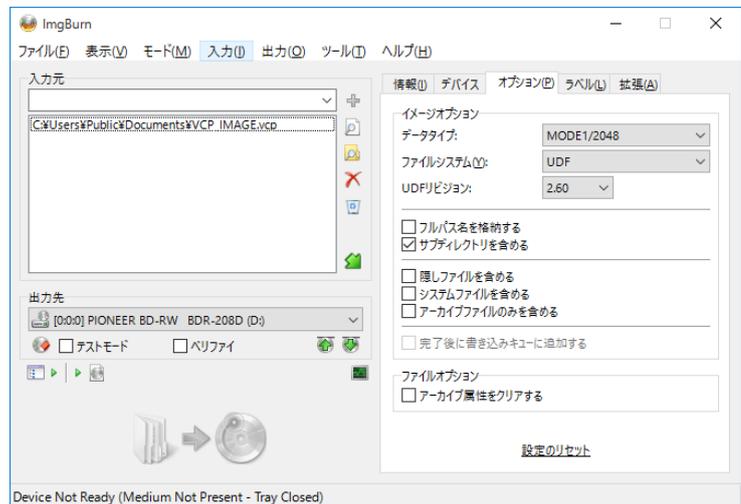


1. ImgBurnの「ファイル/フォルダをディスクに書き込み」でOCPイメージをデータディスクとしてDVD-Rブランクディスクに書込します。



**※重要**

ImgBurnの画面右側にある「オプション」タブを選び、項目から「ファイルシステム」を【UDF】「UDFリビジョン」を【2.60】を選んでから記録して下さい。

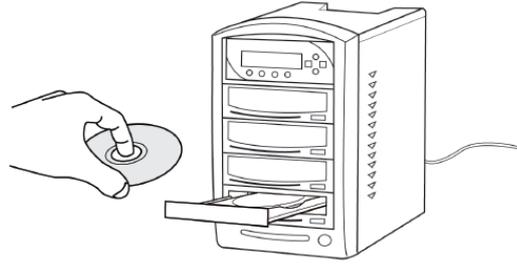


2. 出来上がったディスクをデュプリケータのマスタードライブに挿入し、メニュー「11.CPIユーティリティ」内の「3.CPI ファイル ロード」を選択し、「ENT」を押します。

CPIユーティリティ  
3. CPI ファイル ロード

## STEP 4 OCPイメージからガード付きディスクを作成する

OCP機能を使用するには、  
デュプリケータ本体のバージョンが  
3.35/5.35 (2016年7月版)  
以降である必要があります。



1. 書込ドライブにOCP方式に対応したブランクDVD-Rをセットします。
2. 「▲」「▼」ボタンで「8.ソース選択」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
3. 「▲」「▼」ボタンで「ハードディスク」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
4. 「▲」「▼」ボタンで「1. コピー」または「5. コピー+コンペア」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
5. デュプリケータ内蔵HDDのイメージファイルが表示されます。  
「▲」「▼」ボタンを押して、先ほど転送したファイルを選びます。
6. 「ENT」ボタン押し、コピーを開始します。
7. コピー完了後、自動的にディスクが排出され、結果が表示されます。

成功 \*\* 失敗 \*\* (\*\*)  
空白ディスクを入れてください

カッコ内には連続でコピーしたときの  
合計ディスク枚数が表示されます。



以上でOCP方式 ガード付きDVDの完成です。

**※重要**

作成後のガード付きディスクは、コンペア機能を使用できません。

コンペアができるのは「コピー+コンペア」実行時のみです。

そのため、コンペアを実施したい場合はこのメニューから必ず「コピー+コンペア」を選び、実行して下さい。

## VCP方式 ガード付きディスク作成手順

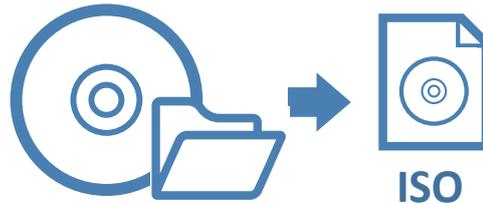
「VCP方式」では、ライセンス入りUSBドングルを使用します。専用のブランクDVD-Rは必要ありません。

メーカー/ブランドを問わない、通常ご利用のDVD-Rでもガード付きディスクが作成できます。

※ ライセンスUSBドングルの購入については販売店もしくは本書裏面に記載の窓口にお問い合わせ下さい。

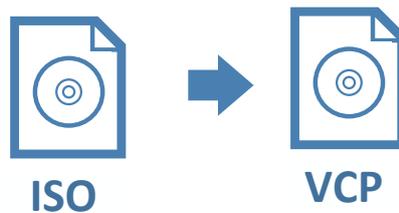
### STEP 1

マスターディスク内のファイル/フォルダからISOイメージを作成する



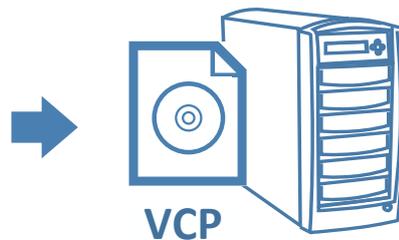
### STEP 2

ISOイメージからVCPイメージへ変換する



### STEP 3

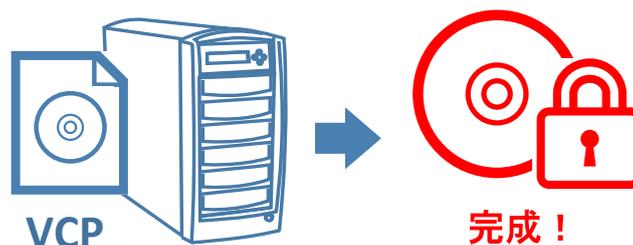
VCPイメージをデュプリケータへ転送する



変換後のイメージをディスクに記録し、転送せずにオンザフライで直接コピーする方法もあります。手順は「BCP/OCP/VCP共通 ダイレクトコピー」のページをご覧ください。(FW3.47/5.47以降)

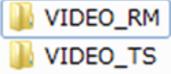
### STEP 4

VCPイメージからガード付きDVDを書き出す



## 【使用するマスターディスクの対応条件】

DVD-Video形式ではルート直下に「VIDEO\_TS」フォルダと「AUDIO\_TS」フォルダが作られています。この2つのフォルダ以外がある場合、または「AUDIO\_TS」フォルダが無い場合は非準拠のためプロテクト処理が失敗、または再生が正常に行えないディスクとなる場合があります。

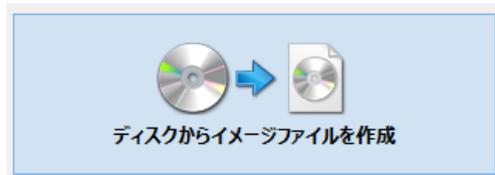
	<p>【例：VIDEO_RMフォルダが有り、AUDIO_TSフォルダが無い】</p> <p>DVD+RW規格で用いられる「VIDEO_RM」フォルダが用意されている場合はDVD-Videoとは異なる仕様のためガード処理が行えません。しかしながら「VIDEO_RM」フォルダは再生に必要な情報が入っているため、フォルダを消去した場合には再生が行えなくなります。プロテクトを掛けるには、DVD-Videoの再オーサリングを行い、「VIDEO_TS」と「AUDIO_TS」以外のフォルダがない形式で改めてマスターの作成を行って下さい。</p> <p>「AUDIO_TS」フォルダが無い場合は「AUDIO_TS」の名前のフォルダを新規に作成して下さい。中は空のままにします。</p>
---	---

## STEP 1 マスターディスクからISOイメージを作成する

1. ImgBurnを起動します。



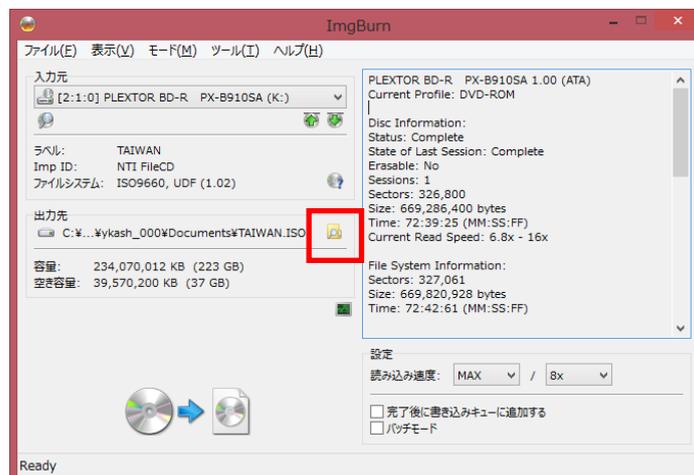
2. 作業一覧から「ディスクからイメージ作成」をクリックします。



3. マスターディスクをPCに挿入します。ディスクが自動再生される場合はプレーヤーを終了させます。

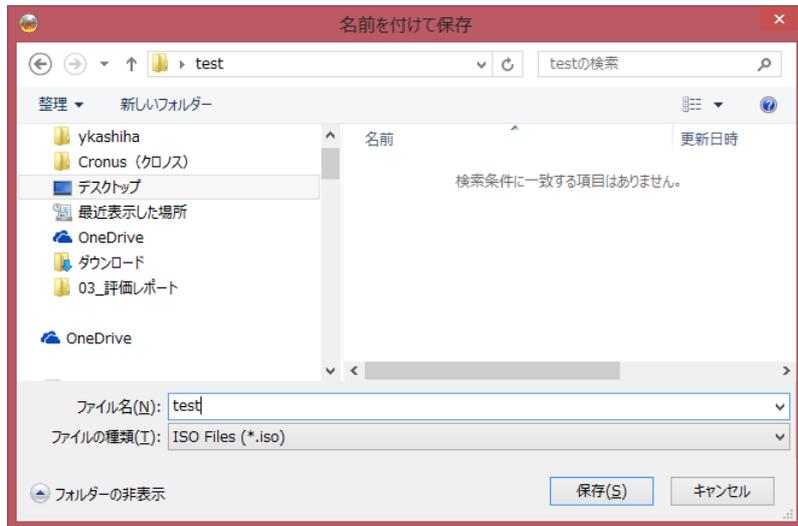


4. 出力先の「フォルダ参照」ボタンをクリックします。



5. 保存場所を選択し、ファイル名を入力したら「保存」をクリックします。

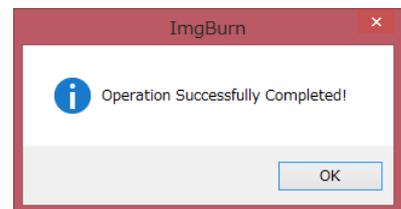
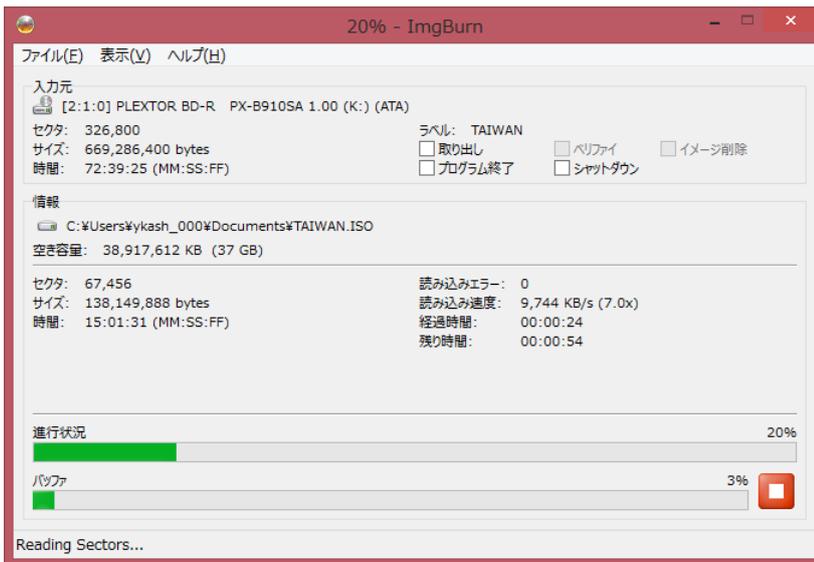
※ファイル名は半角英数字にします。



6. ウィンドウ左下の読み込みアイコンをクリックします。



7. ファイル作成が始まります。正常に終了すると「Operation Successfully Completed!」と表示されます。



## STEP 2 ISOイメージをVCPイメージへ変換する

1. CopyLock を起動します。



2. PCへUSB dongleを挿入します。CopyLockの処理済みイメージ数の欄に使用済ライセンス数が表示されます。



3. 「ISOファイルの参照」をクリックし、先程作成したイメージを選択し、「開く」をクリックします。イメージ名、ソースサイズ、ディスクのタイプ、変換先のサイズが表示されます。



後ほどガード付きディスクを作る際、DVD5は片面1層（4.7GB）以上、DVD9は片面2層（8.4GB）以上のブランクディスクが必要となります。

- ※ ファイル名に全角文字が含まれていると正常に変換できない場合があります。  
ISOファイルのファイル名は半角英数字にしてください。

3. 「変換先の参照」をクリックし、これから作成する変換済みイメージの保存先を指定します。
4. 開始をクリックすると、変換が始まります。  
※VCP方式では、一度の変換作業で1ライセンスを消費します。
3. 100%になると「変換が終了しました。」と表示されます。

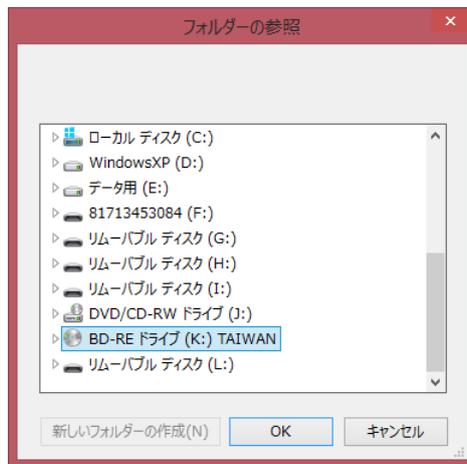


### Tips

「変換先の参照」にデuplicレータの内蔵HDDを指定することもできます。予めデuplicレータを接続し、変換作業を行いながらファイル転送すると時間が短縮できます。

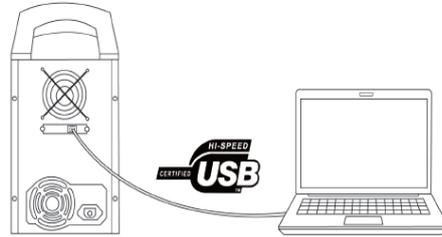
**Tips**

CopyLockバージョン3では新たにディスクからVCPを作成する機能が追加されました。  
ISOイメージを作成せずに、VCPを作成することもできます。



### STEP 3 VCPイメージをデュプリケータへ転送する

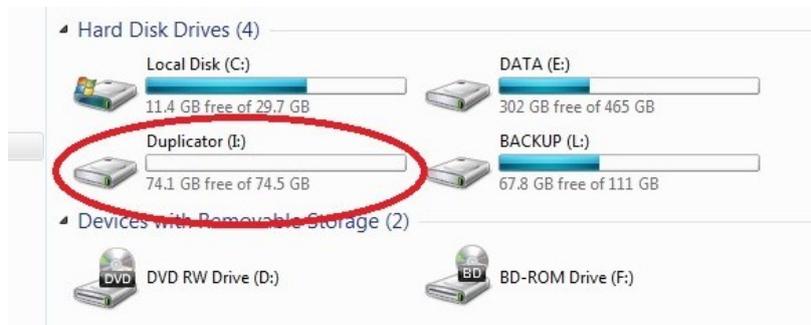
1. PCとデュプリケータをUSBケーブルで接続します。ネットワーク経由で接続する場合は「デュプリケータをネットワーク経由でPCと接続する方法」のページをご参照ください。



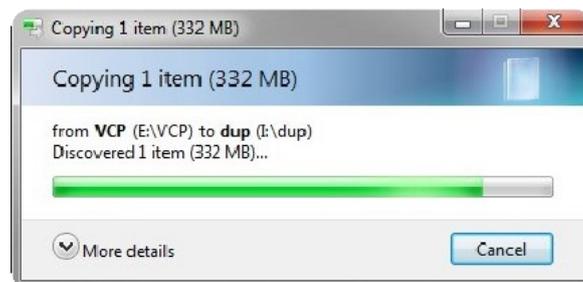
2. 以下の手順でデュプリケータをPC上で認識させます。
  - デュプリケータを起動させます。
  - 「▲」「▼」ボタンで「12.システムセットアップ」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
  - 「▲」「▼」ボタンで「14.外部接続設定」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
  - 「▲」「▼」ボタンで「オン」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
 数秒で、設定が反映され、画面が戻ります。

外部接続設定  
オン

3. デュプリケータに内蔵されているHDDがPC上で「Duplicator」として認識されます。



4. 「Duplicator」を開き、「Dup」フォルダに作成したVCPファイルを転送します。



- ※ 「\_message」と末尾に付くファイルは、CopyLockソフトウェアのログファイルです。イメージファイルではないので転送しないでください。

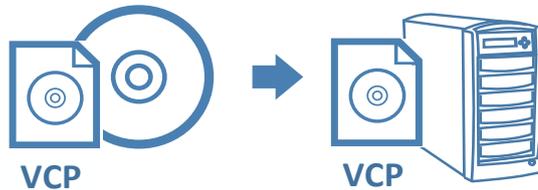
5. 以下の手順でデュプリケータとPCの接続を解除します。
- 「▲」「▼」ボタンで「12. システムセットアップ」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
  - 「▲」「▼」ボタンで「14. 外部接続設定」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
  - 「▲」「▼」ボタンで「オフ」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。  
しばらくすると、表示が変わり、PCとの接続が解除されます。

**※重要**

1GB以下のVCPイメージを転送した場合、ダミーを書き込む時間が必要です。ファイル転送後一分程度待ってから接続を解除してください。

## PCとデュプリケータを接続せず、VCPイメージをデュプリケータに移す方法

「CPIファイルロード」機能を使用することで、PCとデュプリケータを接続しないでVCPイメージをデュプリケータに移すことができます。

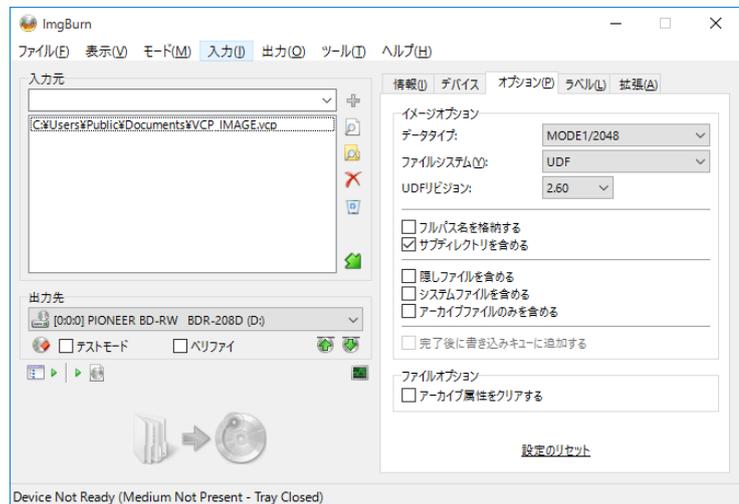


1. ImgBurnの「ファイル/フォルダをディスクに書き込み」でVCPイメージをデータディスクとしてDVD-Rブランクディスクに書込みます。



**※重要**

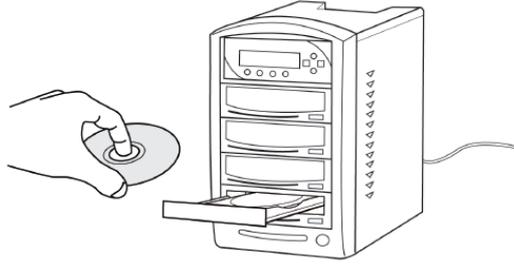
ImgBurnの画面右側にある「オプション」タブを選び、項目から「ファイルシステム」を【UDF】「UDFリビジョン」を【2.60】を選んでから記録して下さい。



2. 出来上がったディスクをデュプリケータのマスタードライブに挿入し、メニュー「11.CPIユーティリティ」内の「3.CPI ファイル ロード」を選択し、「ENT」を押します。

CPIユーティリティ  
3. CPI ファイル ロード

## STEP 4 VCPイメージからガード付きディスクを作成する



1. 書込ドライブに空白ディスクをセットします。
2. 「▲」「▼」ボタンで「8.ソース選択」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
3. 「▲」「▼」ボタンで「ハードディスク」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
4. 「▲」「▼」ボタンで「1. コピー」または「5. コピー+コンペア」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
5. デュプリケータ内蔵HDDのイメージファイルが表示されます。  
「▲」「▼」ボタンを押して、先ほど転送したファイルを選びます。
6. 「ENT」ボタンを押し、コピーを開始します。
7. コピー完了後、自動的にディスクが排出され、結果が表示されます。

成功 \*\* 失敗 \*\* (\*\*)  
空白ディスクを入れてください

カッコ内には連続でコピーしたときの  
合計ディスク枚数が表示されます。



以上でVCP方式 ガード付きDVDの完成です。

※重要

作成後のガード付きディスクは、コンペア機能を使用できません。

コンペアができるのは「コピー+コンペア」実行時のみです。

そのため、コンペアを実施したい場合はこのメニューから必ず「コピー+コンペア」を選び、実行して下さい。

## PCとデュプリケータをネットワーク接続する方法



### 対象機種

SHARK-xxT/BD-CP-NET

SO-VPDxxT/BD-CP-NET

1. ネットワークに接続されたLANケーブルをデュプリケータの背面に接続します。  
※USBコネクタには何も接続しないでください。



2. 以下の手順でデュプリケータを準備します。
  - デュプリケータを起動させます。
  - 「▲」「▼」ボタンで「12.システムセットアップ」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
  - 「▲」「▼」ボタンで「14.外部接続」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
  - 「▲」「▼」ボタンで「オン」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。数秒で、設定が反映され、画面が戻ります。

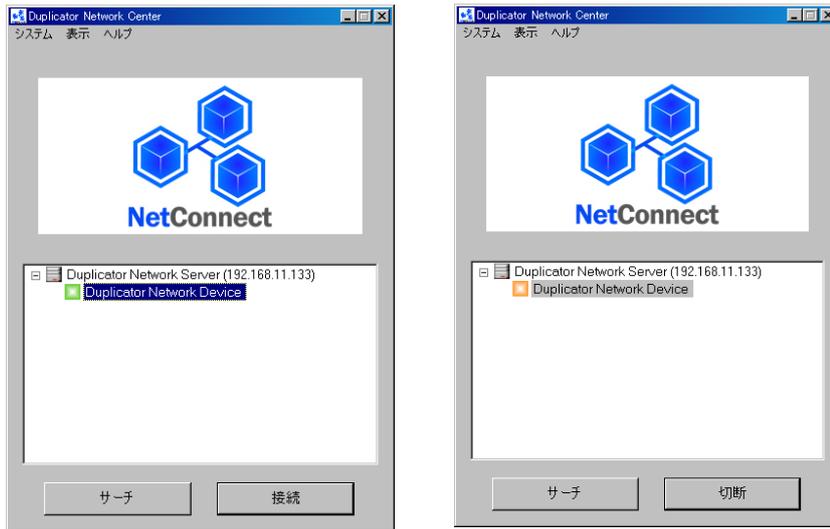
ガイドセツゾク  
オン

3. 「Duplicator Net work Center」を起動します。

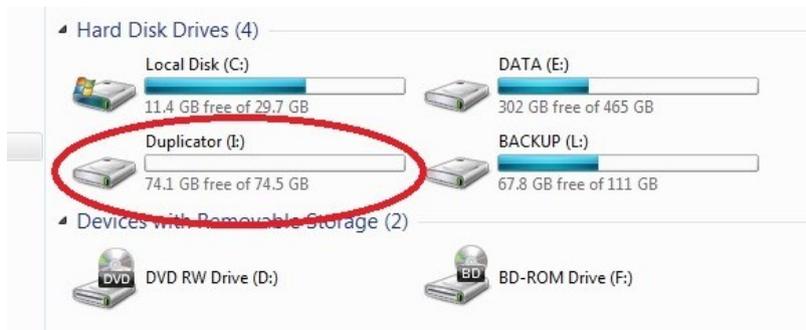


4. 「Duplicator Network Device」の前のマークが緑色になっていることを確認したら「Duplicator Network Device」を選択し、「接続」ボタンを押します。接続が完了するとマークはオレンジ色になります。

## PCとデュプリケータをネットワーク接続する方法

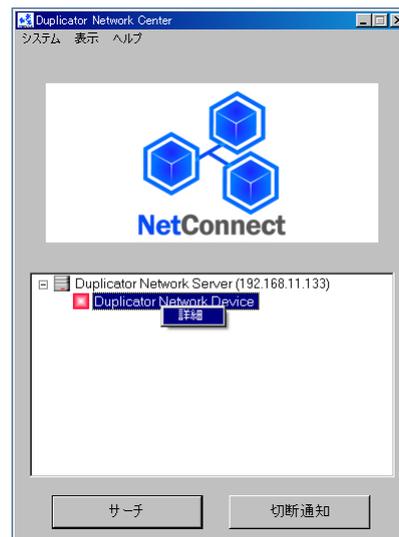


5. デュプリケータに内蔵されているHDDが「Duplicator」と表示されます。



### マークが赤くなっていたら ...

「Duplicator Network Device」の先頭にあるマークが赤く表示されているときは、他のユーザーがデュプリケータを使用中です。使用中のユーザーが通信を切断するまで、他のユーザーは接続できません。「切断通知」をクリックすると相手側に切断を促す通知が送られます。緑色になったら、「接続」をクリックしてください。また、「Duplicator Network Device」を右クリックして「詳細」をクリックすると、詳細情報が得られます。



### マークに「！」がついていたら ...

「Duplicator Network Device」の前に赤いマークに「！」マークが付いているときは、イーサネットポートよりもUSBポートが優先されていることを示しています。

イーサネットケーブルと同時にUSBケーブルが接続されていないかご確認ください。

## BCP/OCP/VCPダイレクトコピー

デuplicレーターのファームウェア【3.47/5.47】以降では、CopyLockでVガードイメージファイルをブランクディスクに記録し、それをマスターディスクとして直接コピー（オンザフライ）することでガード付きディスクを作成する「ダイレクトコピー」方式が利用できるようになりました。

ダイレクトコピーは以下の手順で行います。

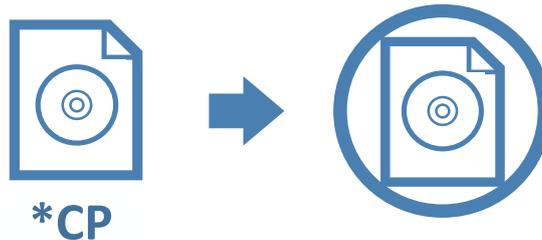
**STEP 1**

BCP/OCP/VCP共通の手順です。  
各ページをご参照下さい。

**STEP 2**

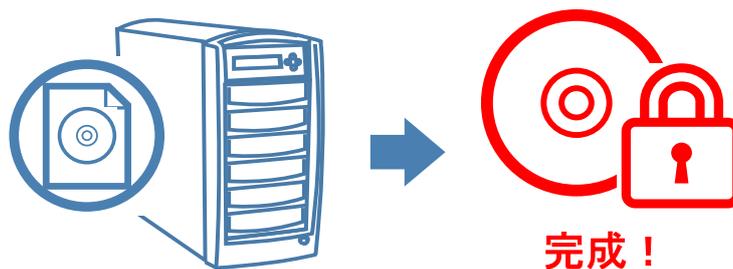
**STEP 3**

BCP/OCP/VCPイメージをディスクに記録する



**STEP 4**

ダイレクトコピーを選んで実行する



イメージ変換までの手順は、BCP/OCP/VCP各ページをご参照下さい。  
当項目ではSTEP 3以降のみ記載しています。

### STEP 3 BCP/OCP/VCPイメージをディスクに記録する

BCPの場合はBD-Rブランクディスク、VCP/OCPの場合はDVD-Rブランクディスクをご用意下さい。  
ブランクディスクをPCの光学ドライブに挿入し、STEP2で作成したイメージファイルをImgBurnの「ファイル/フォルダをディスクに書き込み」にて記録します。

1. ImgBurnを起動します。



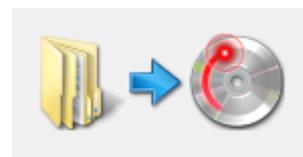
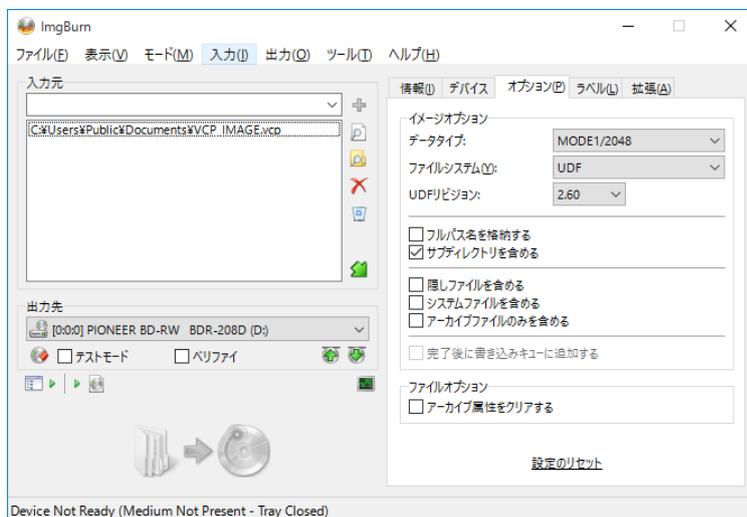
2. 作業一覧から「ファイル/フォルダをディスクに書き込み」をクリックします。



3. ブランクディスクをPCの光学ドライブに挿入します。



4. 「入力元」にSTEP2で作成したイメージファイルを入れてから、左下の書き込みアイコンをクリックしてブランクディスクに書き込みます。

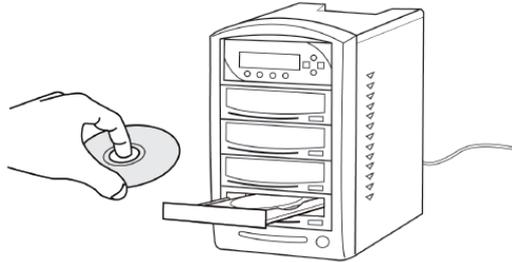


#### ※重要

ImgBurnの画面右側にある「オプション」タブを選び、項目から「ファイルシステム」を【UDF】「UDFリビジョン」を【2.60】を選んでから記録して下さい。

## STEP 4 デュプリケータでダイレクトコピーを実行する

出来上がったディスクをデュプリケータのマスタードライブに挿入し、メニュー「11.CPIユーティリティ」内の「1.CPIダイレクトコピー」または「2.CPIコピー+コンペア」を選び、実行します。



1. 読込ドライブ（一番上）にSTEP3で作成したマスターディスクをセットします。
2. 書込ドライブに空白ディスクをセットします。
3. 「▲」「▼」ボタンで「11. CPIユーティリティ」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
4. 「▲」「▼」ボタンで「1. CPIダイレクトコピー」または「2. CPIコピー+コンペア」に合わせ、「ENT」ボタンを押します。
5. 「ENT」ボタンを押し、コピーを開始します。
6. コピー完了後、自動的にディスクが排出され、結果が表示されます。

成功 \*\* 失敗 \*\* (\*\*)  
空白ディスクを入れてください

カッコ内には連続でコピーしたときの  
合計ディスク枚数が表示されます。



**以上でガード付きディスクの完成です。**

### ※重要

作成後のガード付きディスクは、コンペア機能を使用できません。

コンペアができるのは「CPIコピー+コンペア」実行時のみです。

そのため、コンペアを実施したい場合はこのメニューから必ず「CPIコピー+コンペア」を選び、実行して下さい。

## Vガード 対応デュプリケータ 製品仕様

## Sharkシリーズ Vガード対応モデル

製品保証 ドライブを含む本体：1年間

型名		書込 ドライブ 数	サイズ (WxDxH mm)	重量 (kg)	内蔵 HDD	Blu-ray		DVD	
USB 接続対応	LAN/USB 接続対応					簡易 方式	BCP 方式	OCP 方式	VCP 方式
SHARK-2/BD-CP-USB	SHARK-2/BD-CP-NET	2	178 x 305 x 216	5.4	1TB	○	○	○	○
SHARK-4/BD-CP-USB	SHARK-4/BD-CP-NET	4	189 x 340 x 302	7.3	1TB	○	○	○	○
SHARK-6/BD-CP-USB	SHARK-6/BD-CP-NET	6	190 x 530 x 380	11.8	1TB	○	○	○	○
SHARK-8/BD-CP-USB	SHARK-8/BD-CP-NET	8	190 x 530 x 468	14.5	1TB	○	○	○	○
SHARK-10/BD-CP-USB	SHARK-10/BD-CP-NET	10	190 x 530 x 557	17.3	1TB	○	○	○	○
SHARK-11/BD-CP-USB	SHARK-11/BD-CP-NET	11	190 x 530 x 660	20.4	1TB	○	○	○	○
SHARK-14/BD-CP-USB	SHARK-14/BD-CP-NET	14	190 x 530 x 762	24	1TB	○	○	○	○
SHARK-15/BD-CP-USB	SHARK-15/BD-CP-NET	15	190 x 530 x 839	25.9	1TB	○	○	○	○
SHARK-2/BD-USB	SHARK-2/BD-NET	2	178 x 305 x 216	5.4	1TB	-	-	○	○
SHARK-4/BD-USB	SHARK-4/BD-NET	4	189 x 340 x 302	7.3	1TB	-	-	○	○
SHARK-6/BD-USB	SHARK-6/BD-NET	6	190 x 530 x 380	11.8	1TB	-	-	○	○
SHARK-8/BD-USB	SHARK-8/BD-NET	8	190 x 530 x 468	14.5	1TB	-	-	○	○
SHARK-10/BD-USB	SHARK-10/BD-NET	10	190 x 530 x 557	17.3	1TB	-	-	○	○
SHARK-11/BD-USB	SHARK-11/BD-NET	11	190 x 530 x 660	20.4	1TB	-	-	○	○
SHARK-14/BD-USB	SHARK-14/BD-NET	14	190 x 530 x 762	24	1TB	-	-	○	○
SHARK-15/BD-USB	SHARK-15/BD-NET	15	190 x 530 x 839	25.9	1TB	-	-	○	○
SHARK-2/DVD-USB	SHARK-2/DVD-NET	2	178 x 305 x 216	5.4	1TB	-	-	○	○
SHARK-4/DVD-USB	SHARK-4/DVD-NET	4	189 x 340 x 302	7.3	1TB	-	-	○	○
SHARK-6/DVD-USB	SHARK-6/DVD-NET	6	190 x 530 x 380	11.8	1TB	-	-	○	○
SHARK-8/DVD-USB	SHARK-8/DVD-NET	8	190 x 530 x 468	14.5	1TB	-	-	○	○
SHARK-10/DVD-USB	SHARK-10/DVD-NET	10	190 x 530 x 557	17.3	1TB	-	-	○	○
SHARK-11/DVD-USB	SHARK-11/DVD-NET	11	190 x 530 x 660	20.4	1TB	-	-	○	○
SHARK-14/DVD-USB	SHARK-14/DVD-NET	14	190 x 530 x 762	24	1TB	-	-	○	○
SHARK-15/DVD-USB	SHARK-15/DVD-NET	15	190 x 530 x 839	25.9	1TB	-	-	○	○

## JetCopierVTシリーズ Vガード対応モデル

製品保証 ドライブ：1カ月 本体：1年間

型名		書込 ドライブ 数	サイズ (WxDxH mm)	重量 (kg)	内蔵 HDD	Blu-ray		DVD	
USB 接続対応	LAN/USB 接続対応					簡易 方式	BCP 方式	OCP 方式	VCP 方式
SO-VPD4T/BL-CP-USB	SO-VPD4T/BL-CP-NET	4	180 x 420 x 280	11.8	1TB	○	○	○	○
SO-VPD6T/BL-CP-USB	SO-VPD6T/BL-CP-NET	6	180 x 420 x 372	13.3	1TB	○	○	○	○
SO-VPD8T/BL-CP-USB	SO-VPD8T/BL-CP-NET	8	180 x 420 x 465	15.0	1TB	○	○	○	○
SO-VPD11T/BL-CP-USB	SO-VPD11T/BL-CP-NET	11	180 x 420 x 601	19.2	1TB	○	○	○	○
SO-VPD1T/BL-CP-NU		1	190 x 286 x 174	9.2	-	○	△	△	△
SO-VPD3T/BL-CP-NU		3	180 x 420 x 280	12.8	-	○	△	△	△
SO-VPD6T/BL-CP-NU		5	180 x 420 x 372	11.3	-	○	△	△	△
SO-VPD7T/BL-CP-NU		7	180 x 420 x 465	14.5	-	○	△	△	△
SO-VPD10T/BL-CP-NU		10	180 x 420 x 601	18.7	-	○	△	△	△
SO-VPD4T/BD-USB	SO-VPD4T/BD-NET	4	180 x 420 x 280	11.8	1TB	-	-	○	○
SO-VPD6T/BD-USB	SO-VPD6T/BD-NET	6	180 x 420 x 372	13.3	1TB	-	-	○	○
SO-VPD8T/BD-USB	SO-VPD8T/BD-NET	8	180 x 420 x 465	15.0	1TB	-	-	○	○
SO-VPD11T/BD-USB	SO-VPD11T/BD-NET	11	180 x 420 x 601	19.2	1TB	-	-	○	○
SO-VPD4T/DVD-USB	SO-VPD4T/DVD-NET	4	180 x 420 x 280	11.8	1TB	-	-	○	○
SO-VPD6T/DVD-USB	SO-VPD6T/DVD-NET	6	180 x 420 x 372	13.3	1TB	-	-	○	○
SO-VPD8T/DVD-USB	SO-VPD8T/DVD-NET	8	180 x 420 x 465	15.0	1TB	-	-	○	○
SO-VPD11T/DVD-USB	SO-VPD11T/DVD-NET	11	180 x 420 x 601	19.2	1TB	-	-	○	○

△…ダイレクトコピーのみ対応

## DVD/Blu-ray モデル別 共通仕様

	DVDモデル	Blu-rayモデル
型名	<b>&lt;Sharkシリーズ&gt;</b> SHARK-x/DVD-USB SHARK-x/DVD-NET  <b>&lt;JetCopierVTシリーズ&gt;</b> SO-VPDxT/DVD-USB SO-VPDxT/DVD-NET	<b>&lt;Sharkシリーズ&gt;</b> SHARK-x/BD-CP-USB SHARK-x/BD-CP-NET SHARK-x/BD-USB SHARK-x/BD-NET  <b>&lt;JetCopierVTシリーズ&gt;</b> SO-VPDxT/BL-CP-NU SO-VPDxT/BL-CP-USB SO-VPDxT/BL-CP-NET SO-VPDxT/BL-USB SO-VPDxT/BL-NET
通常コピー	DVD/CD	Blu-ray / DVD / CD
最大コピー速度	DVD-R 16x, DVD+R 16x, DVD-R DL 8x, DVD+R DL 8x, DVD-RW 6x, DVD+RW 8x, CD-R 40x, CD-RW 24x	BD-R 12x, BD-R DL 12x, BD-R(LTH) 6x, BD-RE 2x, BD-RE DL 2x, DVD-R 16x, DVD+R 16x, DVD-R DL 8x, DVD+R DL 8x, DVD-RW 6x, DVD+RW 8x, CD-R 40x, CD-RW 24x
ディスプレイ	英数字（半角文字）：20文字 漢字かな（全角文字）：10文字 × 2行 青色バックライトLCD	
入力電源	AC 100 ~ 240V	
動作環境	温度：5 ~ 40℃，湿度：20% ~ 80%	

- ※ 既にコピーガードの掛かっているディスクをマスターとしてコピーすることはできません。当機種にガードを除去する機能はございません。
- ※ オンザフライ書込時は、書込ドライブのうち1台が読込ドライブになるため、同時に書き込みできるドライブ台数は1台減ります。
- ※ コピー元のディスクはファイナライズ処理されたものをお使い下さい。ファイナライズ処理がされていない場合は、コ

## 製品の取り扱い・修理に関するご相談窓口

株式会社 創朋

 **03-5812-2153**

受付時間：平日 10:00 ~ 19:00 (休業日を除く)

## 株式会社 創朋

〒101-0021 千代田区外神田 6-6-1 齊藤ビル 3F

TEL.03-5812-2153 FAX.03-5812-2152 <http://www.soho-jp.com>

2021.8